パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を1度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、1型名 2ご購入日 3故障症状を具体的に、ご連絡ください。

● **ホームページ　商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内**
http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html

<下記窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）
受付　月曜～金曜　9：30～ 17：00、土曜・日曜・祝日　9：30 ～12：00、13：00～ 17：00（弊社休業日は除く）
家庭用オーディオ／ビジュアル商品の
お問い合わせ及びカタログのご請求窓口：**0070-800-8181-22**
一般電話：**03-5496-2986**　ファックス受付：**03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

● **部品受注センター**
受付　月曜～金曜　9：30 ～18：00、　土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00（弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）：**0120-5-81095**
一般電話：**0538-43-1161**　ファックス（フリーダイヤル）：**0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

● **修理受付センター**（沖縄県を除く全国）
受付　月曜～金曜　9：30～19：00、土曜・日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休業日は除く）
電話（フリーダイヤル）：**0120-5-81028**（ゴーパイオニア）
一般電話：**03-5496-2023**　ファックス（フリーダイヤル）：**0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜　9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）
一般電話：**098-879-1910**　ファックス：**098-879-1352**

お客様メモ

● 覚えのため記入されますと便利です。

ご購入店名	電話番号	お近くのご相談窓口	
ご購入年月日	年　月　日		

JIS C 61000 -3-2適合品

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<7S801731>

Pioneer sound.vision.soul

0922

高精細プラズマディスプレイモニター
PDP-615PRO

インターネットによる登録のお願い
http://www3.pioneer.co.jp/
お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

取扱説明書

「据付工事」について
本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。
なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

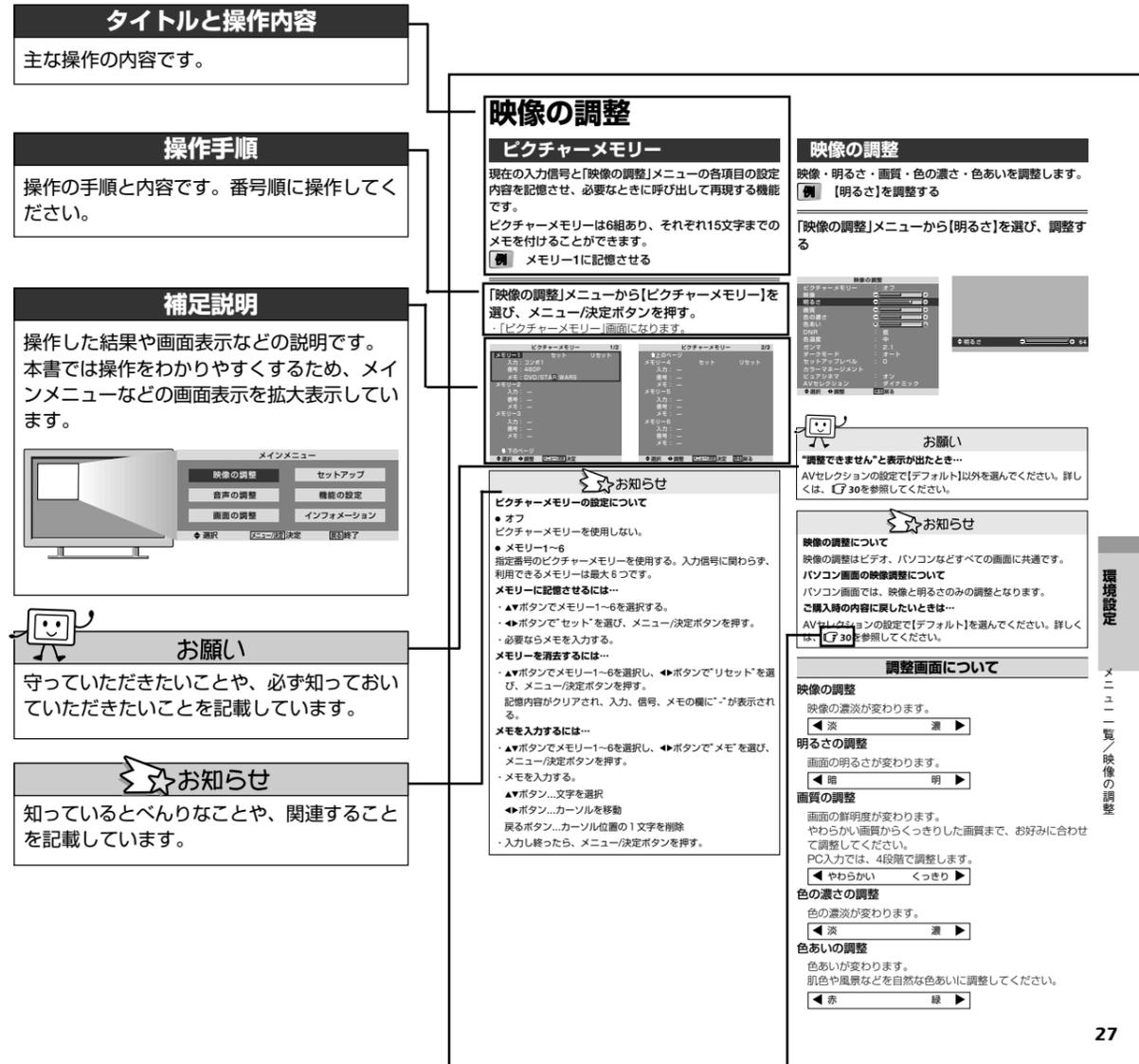
目　次

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

取扱説明書の見かた

本書の構成や使いかたを27ページを例に説明しています。

■本書の構成

操作はリモコンでの操作を中心に説明しています。
ディスプレイ側のボタン操作は、補足説明に記載しています。

■本書の使いかた

はじめて本書をお使いになるときは「はじめに」と「スタートガイド」をお読みになり、本機の特長と基本操作をつかみましょう。そのあとは目次や検索アイテムを使って、操作したい項目を探しましょう。

■本書の検索アイテム

- 目次 →本書のタイトルから探すとき 1
- 各部の名称とはたらき →ディスプレイのボタンや背面端子、リモコンのボタンから探すとき 13
- メニュー操作のしかた →メニュー画面の項目から探すとき 24

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

万一内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

画面が映らない、音が出ないなどの故障状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

万一、本機を落としたり転倒させることにより、キャビネットあるいはパネルを破損した場合は、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

設置

本機は設置用のスタンドを付属していません。設置の際は、別売の当社製プラズマテレビ専用のスタンドや壁掛け金具などをご使用ください。本機は大型で質量があるので、ぐらついた台や傾いたところなどを避け、安定した場所に置いてください。また、本機には転倒防止の処置を行ってください。転倒防止を行わないと、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。開梱や持ち運びは２人以上で行ってください。

ディスプレイを移動する場合は、「取っ手」を使用し必ず2人で作業してください。
片側の「取っ手」のみでの移動はしないでください。

注意

電源コードの上に重いものを載せたり、コードが本機の下敷きになったりしないようにしてください。コードの上を敷物などで覆うと、気づかずに重いものを載せてしまうことがあります。重いものを載せるとコードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

禁止

設置

付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないで下さい。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

禁止

使用環境

本機の内部に水が入ったり、濡らさないようご注意ください。屋外や風呂場など、水場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災･感電の原因となります。

100V以外禁止

使用方法

本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

禁止

本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、落下して中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

雷が鳴り出したらすぐに使用を中止して、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

本機のキャビネットをはずしたり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

分解禁止

電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ほこり除去

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災･感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

本機の前面パネルに、たたくなどの衝撃を加えるとパネルが割れ、火災･けがの原因となります。前面パネルには絶対に衝撃を加えないでください。

禁止

⚠ 注意

設置

濡れた手で電源プラグを抜き差ししたり、本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき火災･感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止

設置

放熱を良くするため、他の機器や壁などから 50 mm 以上の間隔を取って設置してください。
また、次のような使いかたをしないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
●押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
●じゅうたんやふとんの上に置く。
●テーブルクロスなどをかける。
●横倒しにする。
●逆さまにする。

禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

本機を直射日光が当たる場所に長期間置かないでください。前面パネルの光学特性が変化し、変色したり、そりの原因となります。

禁止

移動させる場合は本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部コード、転倒防止具をはずしたことを確認してください。コード類をはずさずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温、多湿になる場所あるいは油煙やホコリの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

本機は質量が68.0kgあり、奥行がなくて不安定なため、開梱や持ち運び、および設置は2人以上で行ってください。

注意

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

プラグを抜く

本機はガラス部品を使用しています。万一部品が割れた場合には、破片でけがなどをしないよう取り扱いに注意し、販売店に修理をご依頼ください。

注意

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止

3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

本機背面にある通気孔は、月に1回を目安に掃除機でホコリを吸い取ってください（このとき掃除機は「弱」に設定してください）。また、通気孔のお手入れは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ホコリをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

注意

安全上のご注意

区分	内容	表示
設置	地震などによる転倒を防止するため、丈夫なヒモとフック金具を使用して、壁や柱など強度の高いところに固定してください。	注意
設置	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したりホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。	確実に差す
設置	電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。	禁止
設置	オーディオ機器やビデオ機器など、他の機器と組み合わせて使用する場合は、本機の電源を切った後、電源プラグをコンセントから抜いて接続してください。	プラグを抜く
使用環境	本機を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。	注意
使用環境	周囲温度は０～40℃の範囲内でご使用ください。	
使用環境	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	プラグを抜く
使用方法	長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。	禁止
使用方法	同じ絵柄やパソコンの静止画像、画面サイズ4:3や、上下や左右に黒帯が表示される映像を長時間連続で表示しないでください。画像が焼きつき、残像として残る場合があります。	
使用方法	本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。	
使用方法	指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。	
使用方法	電池をリモコン内にセットする場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。	注意
使用方法	乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。	禁止
使用方法	電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となることがあります。	
使用方法	長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災やけが、あるいは周囲を汚す原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭きとってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。	電池を取り出す

お願い

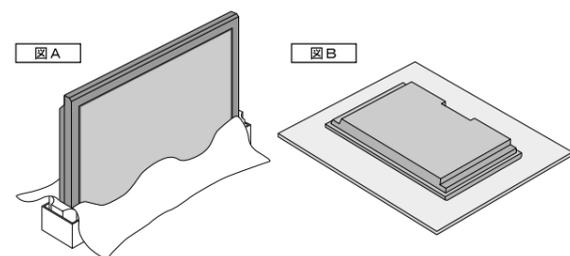
オプション品の取付について

別売りの壁掛け金具やスタンドでディスプレイを取付／設置する方法が2通りあります。

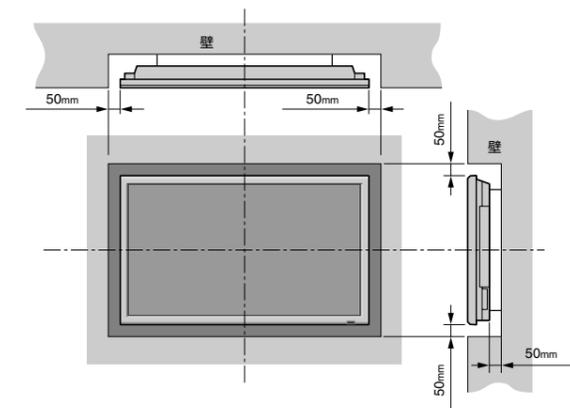
＊ディスプレイを垂直に取付／設置する場合(図A)

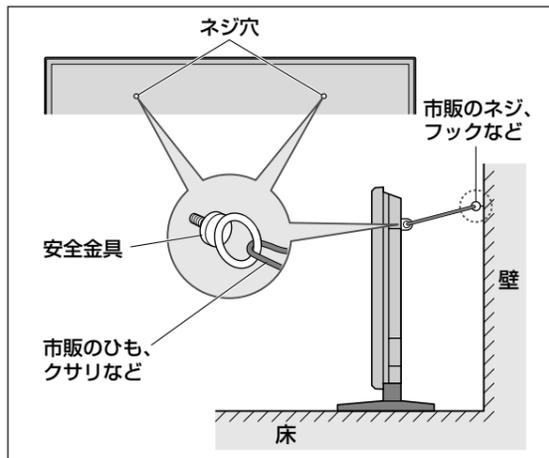
＊画面を下向きにして取付／設置する場合(図B)。購入時にディスプレイを梱包していた保護シートを下に敷き、画面表面に傷が付かないようにします。

＊ディスプレイを持ち運ぶ際は、スクリーン面に触れたり、摑んだりしないようにしてください。

- このディスプレイは本体だけでの取付／設置は行えません。必ず当社指定のスタンドもしくは壁掛け金具を使用して取付/設置してください。
- 壁掛け金具やスタンドはオプションに表示されている製品のみをご利用下さい。

- 取付/設置やディスプレイの持ち運びを行う際は、ディスプレイ裏上部についているハンドルをご利用下さい。

囲まれた位置に取付／設置する際の換気について

以下の図のような環境にディスプレイの取付／設置を行う場合は、壁面とディスプレイの間に、熱を分散させるためのスペースを確保してください。

転倒防止の補助について

- 地震や衝撃による転倒防止の補助として、ディスプレイ背面の固定用の穴に市販のひも、クサリを通して、ネジ、フックをご利用いただきディスプレイを壁面や柱など、堅牢部に固定してください。(オプション品の壁掛け金具では使用しません。)
- 移動させるときは、ひもに注意してください。

- このディスプレイは本体だけでの設置は行えません。必ず当社指定のスタンドもしくは壁掛け金具を使用して設置してください。

画素欠けについて

- プラズマディスプレイは、微細な画素の集合体で、非常に精密な技術で作られていますが、ごく一部の画素が光らなかったり、常時点灯する場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

画面の焼き付きについて

- 静止画像など同じ絵柄の映像を長い時間表示すると、画面に残像が残る場合があります。
  残像には次の2つの原因があります。

1. 電気負荷の残留による残像
   輝度の非常に高い映像を1分以上表示すると、電気負荷の残留により残像がでることがあります。これは動画を表示するとやがて消えます。残像が消えるまでにかかる時間は、もとの映像の輝度と表示時間によって異なります。
2. 焼き付きによる残像
   プラズマディスプレイに同じ絵柄を長時間表示しないでください。同じ絵柄を何時間も続けて表示したり、短時間でも毎日くり返し表示したりすると、蛍光素材の焼き付きにより残像ができることがあります。この場合は、動画の映像によって目立たなくなることがありますが、完全に消えることはありません。
   また、画面サイズ4:3や上下や左右に黒帯が表示される映像を何時間も続けて表示したり短時間でも毎日くり返し表示すると同様の焼き付きによる残像が残ります。
   著作者の権利を侵害する恐れがある場合を除き、画面の焼き付きを避けるため、映像を画面いっぱいに映す画面サイズに切り換えて(☞ 18,19ページ)お楽しみいただくことをお勧めします。また、「そのほかの設定」(☞ 37～39ページ)により、焼き付きの発生を軽減することができます。

廃棄について

- 廃棄の際は、お買い上げの販売店または、自治体にお問い合わせいただき、条例または規則に従って廃棄してください。

4:3モード、D BY Dモードでのご注意

- 4:3モード、D BY Dモードの表示部と非表示部(映像のない部分)は、互いに明るさの差が激しいため、濃淡の強い焼き付きを起こす原因となります。よって、なるべく次のように調整することをお奨めします。
  1. 映像の表示部と非表示部の明るさの差が縮まるように、サイドマスクを調整する。☞ 34
  2. 映像と明るさを弱める。☞ 27,37

  ただし、調整しても焼き付きを起こす時間が若干のびるだけで、焼き付きを抑えることはできません。できる限りフルモードでご使用ください。

赤外線について

- プラズマディスプレイは原理上赤外線を出しています。使用状態によっては周囲の機器のリモコンが効きにくくなったり赤外線を使用しているワイヤレスヘッドホンにノイズが入る場合があります。その場合は影響を受けないような場所に機器の受光部を設置してください。

ファンモータ音について

- 設置環境により本体周囲の温度が高くなると、冷却用のファンモータが速く回ります。そのため回転音が大きく感じられる場合があります。

お手入れのしかた

お手入れの前には必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

キャビネットのよごれは…

- 毛羽立ちの少ない柔らかい乾いた布でふいてください。よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふいたりしますと、変質したり、塗料がはげることがあります。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- キャビネットを、爪や硬いものでひっかいたり当てたりすると、傷の原因となります。
- 通風孔のまわりにほこり等がたまると、内部に入る可能性がありますので、通風孔のまわりは日常からきれいにしておいてください。通風孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。傷の原因となります。

パネルのよごれは…

- パネル表面は付属の布(ワイピングクロス)、または柔らかい乾いた布でふいてください。パネル表面は傷が付きやすいので、硬いものでこすったりたたいたりしないでください。
- シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

静電気について

- お手入れされるときに、パネル表面に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、人体には影響ありません。

セットアップの手順

梱包を開けてから設置、接続、設定するまでを簡単に説明します。

付属品を確認する

※品名の□欄は、確認のチェックにご利用ください。

□取扱説明書　□保証書
□ご相談窓口・修理窓口のご案内
□安心サービス保証プログラムのご案内
□安心サービス保証プログラム申込書
□リモコン　□安全金具(2コ)
□乾電池（単4型2本）　□フェライトコア(2コ)
□電源コード　□ケーブルクランパ(5本)
□AC変換プラグ
□ワイピングクロス

ディスプレイの設置

本機は本体だけでの設置は行えません。必ず当社指定のスタンドもしくは壁掛け金具を使用して設置してください。

⚠警告　🚫お客様による特殊な設置禁止

お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。
壁掛けなど特殊な工事が必要な設置につきましては、販売店にご相談ください。

⚠注意　⚠移動するときは2名以上で

移動や設置および取り付けは、必ず2名以上で行ってください。落下してけがの原因となることがあります。

お願い

本機を横にするときは、パネルに傷が付かないように梱包用マットや毛布など柔らかいものを敷いてください。

本機専用の取付けユニットには、次のようなモデルがあります。

- 壁掛け金具(PDK-WM03)
- テーブルトップスタンド(PDK-1014)

⚠注意　⚠当社指定のオプション品を使用

取り付けオプション品やネジ等は、当社指定のものを使用してください。

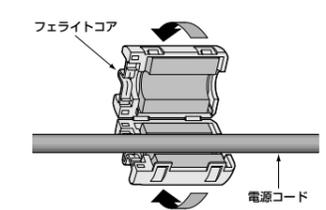
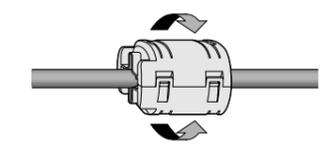
外部機器との接続

- それぞれの機器の保護のため、主電源を切ってから行ってください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- パソコンと接続しているときは、ディスプレイの電源を先に入れてください。

フェライトコアの取り付けかた

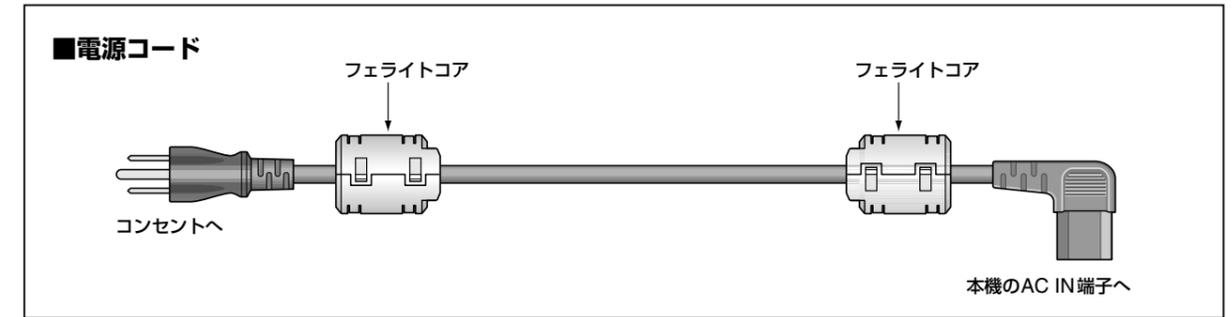
電源コードにフェライトコアを取り付けてください。
また、RGB信号ケーブル(ミニD-Sub 15ピン)は、両端にフェライトコアの付いたケーブルを使用してください。
フェライトコアを取り付けずに使用すると、ノイズの原因となります。

■電源コードの場合

フェライトコアを開いて電源コードをはさむ

フェライトコアを閉める

■RGB信号ケーブルの場合

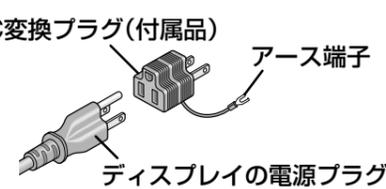
両端にフェライトコアの付いたミニD-Sub 15ピンを使用してください。

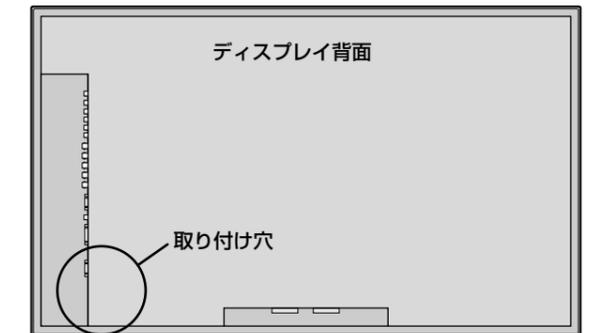
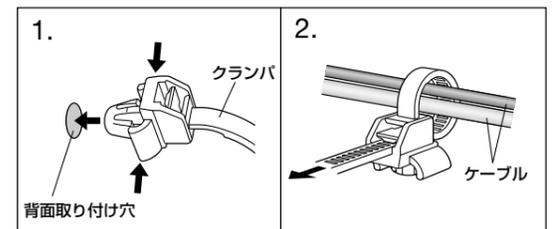
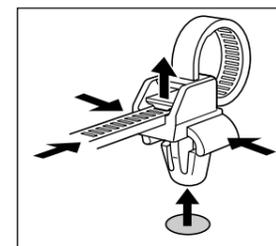
●フェライトコアの取付位置

フェライトコアは、電源コードの両端それぞれに取り付けてください。

電源コードの接続

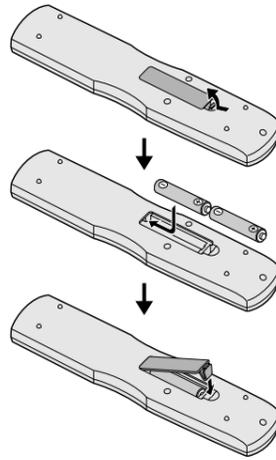
- コンセントは、電源プラグが抜きやすい位置にあることをお確かめください。
- 電源プラグは、確実に差し込んでください。
  不完全な接続は、ノイズの原因となります。
- 電源コードにフェライトコア(付属品)を取り付けてください。

⚠注意

AC変換プラグご使用の注意
電源プラグは、アース付き3芯プラグです。
機器のアースは確実にとってご使用ください。
なお、コンセントが2芯専用の場合は、アース工事を専門業者にご依頼ください。

ケーブルを束線する

ディスプレイに接続している映像信号、音声信号のケーブルを、ケーブルクランパ(付属品)を使って、ディスプレイ背面に束線してください。

取り付け方

取り外し方

セットアップの手順

リモコンに乾電池を入れる

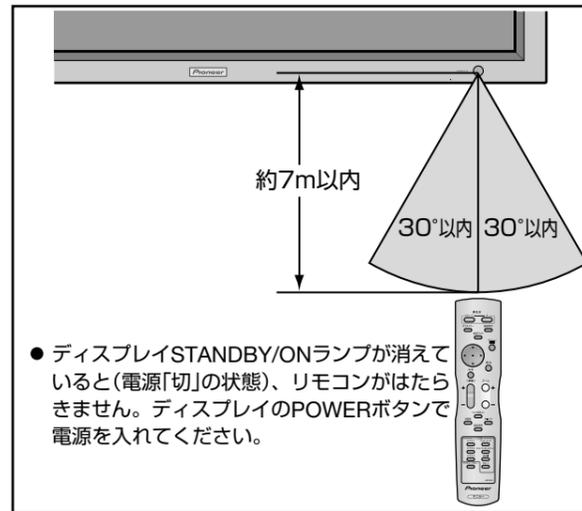
1. ふたを押しながら引く
2. ケース内部の表示通りに、⊕ ⊖ の向きを合わせて入れる
3. ふたをもとに戻す

- 電池が消耗したときは単四乾電池を2本お買い求めください。

⚠注意

乾電池は誤った使いかたをすると液漏れや破裂することがありますので次のことをお守りください。
- ・種類の違うものや新旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池を充電したり、分解しない。
- ・⊕極と⊖極を正しく入れる。
- ・ショートさせない。
- ・不要となった電池を廃棄する際は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

リモコンの使いかた

ディスプレイのリモコン受光部に向けてボタンを操作してください。

またリモコンは、ディスプレイのリモコン受光部の正面から約7m以内、上下／左右とも30˚以内を目安に操作してください。

- ディスプレイSTANDBY/ONランプが消えていると(電源「切」の状態)、リモコンがはたらきません。ディスプレイのPOWERボタンで電源を入れてください。

お願い

- ディスプレイのリモコン受光部やリモコン発光部に明るい光が当たっていたり、途中に障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。

各部の名称とはたらき

ディスプレイ前面

① POWERボタン(⏻) ……………………… ☞16
ディスプレイの主電源を「入／切」します。

② リモコン受光部 ……………………………… ☞12
リモコンからの信号を受光します。

③ STANDBY/ONランプ ……………… ☞17, 35
電源の「入／スタンバイ」やパワーマネジメント機能の状態をランプの色でお知らせします。

④ INPUT/EXITボタン ……………………… ☞24
通常のとき
押すごとに入力を切換えます。
入力は【BNCインプット】、【RGBセレクト】により異なります。
メニューモードのとき
ひとつ前の画面に戻したり、メニュー画面を消したりします。

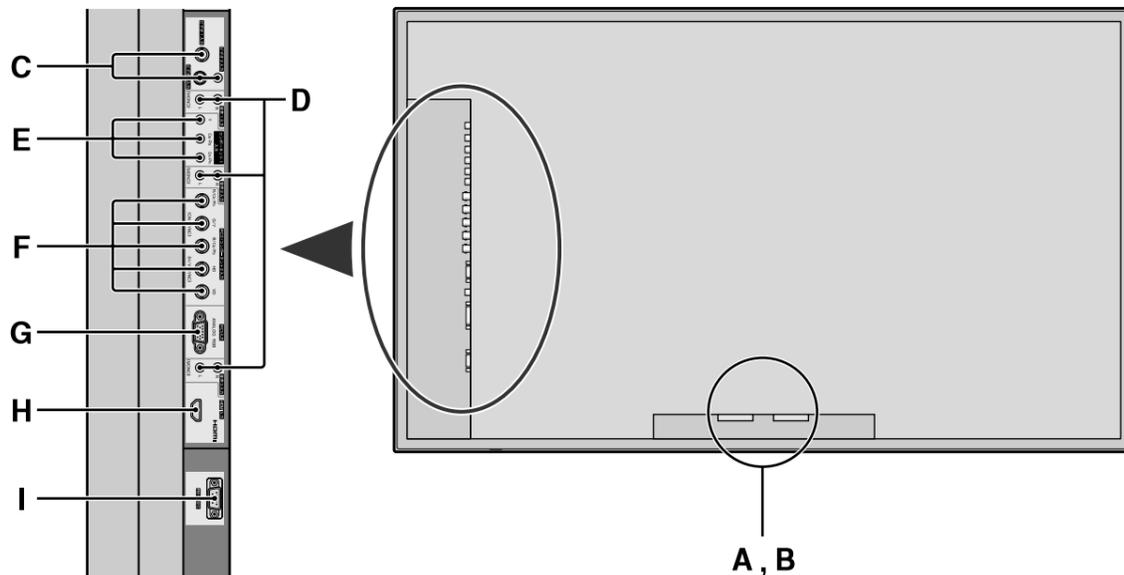
⑤ ＜ / ＞ ボタン ………………………… ☞24
メニューモードのとき
カーソルを左右に移動します。

⑥ VOLUME ∨/∧ボタン …………… ☞17,24
通常のとき
音量を調整します。
メニューモードのとき
カーソルを上下に移動します。

⑦ MENU/SETボタン ……………………… ☞24
メニュー画面を表示したり、調整内容を決定したりします。

お知らせ

- POWERボタンのオン／オフは、コンセントからの電源を完全に遮断するものではありません。

各部の名称とはたらき　ディスプレイ背面

A AC インレット端子 ………………………… ☞11
付属品の電源コードを接続します。

B スピーカ端子
スピーカを接続します。スピーカの取扱説明書をご覧ください。
LEFT、RIGHTともに⊕(プラス)は⊕どうし、⊖(マイナス)は⊖どうしを接続してください。

C ビデオ1,2,3(BNC, RCA, S-Video)入力端子
ビデオやCSチューナ、ビデオカメラやDVDなどを接続します。

D 音声1,2,3入力端子
パソコンやビデオ、DVDなどの音声を接続します。
ビデオ1〜3、PC1〜2、コンポーネント1〜2端子と自由に組みあわせることができます。
＊【音声入力】を設定してください。☞31

E コンポーネント1入力端子
DVDやハイビジョンビデオ、デジタル放送チューナなどを接続します。

F PC2/コンポーネント2入力端子
・パソコンなどのアナログRGB信号を接続します。
・DVDやハイビジョンビデオ、デジタル放送チューナなどを接続します。
＊【BNCインプット】を設定してください。☞32

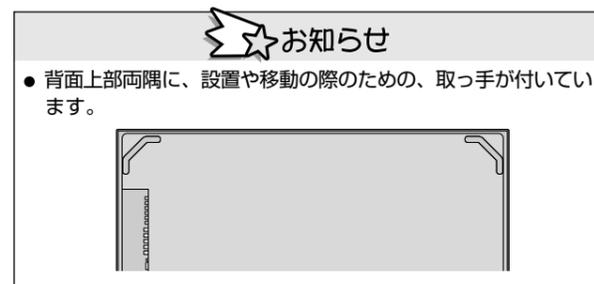
G PC1入力端子
パソコンなどのアナログRGB信号を接続します。

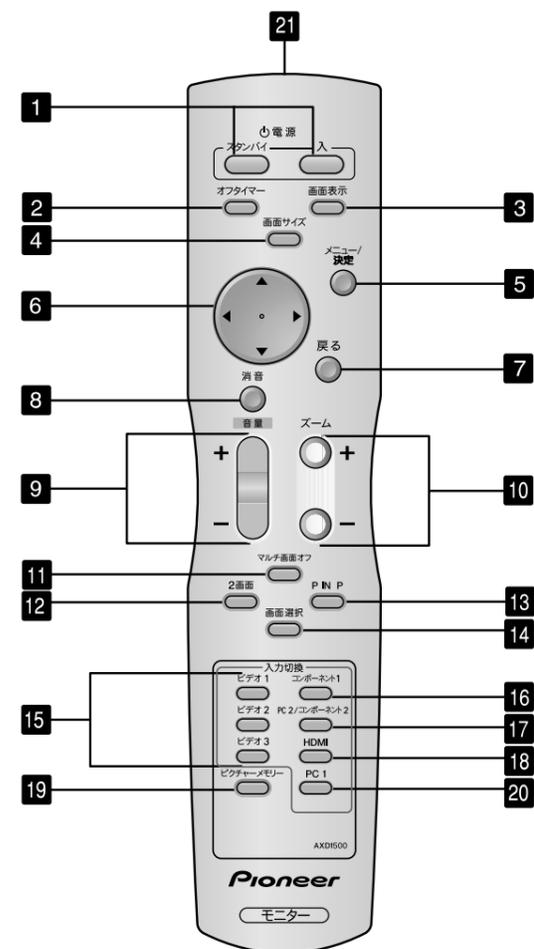
H HDMI入力端子
HDMI(High Definition Multimedia Interface)出力端子を備えたDVDプレーヤーやセットトップボックスなどを接続します。
対応信号については☞45をご参照ください。

I RS-232C端子
何も接続しないでください。

お知らせ

● 背面上部両隅に、設置や移動の際のための、取っ手が付いています。

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

各部の名称とはたらき　リモコン

1 入/スタンバイボタン …………………… ☞16
ディスプレイの電源を「入／切」します。
＊本体のSTANDBY/ONランプが点灯していないときは動作しません。

2 オフタイマーボタン ………………………… ☞20
オフタイマーを選びます。

3 画面表示ボタン ……………………………… ☞20
画面サイズを一時的に表示します。

4 画面サイズボタン …………………… ☞18,19
画面サイズを選びます。

5 メニュー/決定ボタン …………………… ☞24
メニュー画面を表示したり、調整内容を決定したりします。

6 カーソルボタン ……………………… ☞21,24
メニューモードのとき
メニュー項目の選択や調整・設定をします。
デジタルズームのとき
画面の位置調整をします。

7 戻るボタン ………………………………………… ☞24
メニューモードのとき
ひとつ前の画面に戻したり、メニュー画面を消したりします。

8 消音ボタン ………………………………………… ☞17
音を一時的に消します。

9 音量+/−ボタン ……………………………… ☞17
音量を調整します。

10 ズーム+/−ボタン ………………………… ☞21
画像の拡大、縮小をします。

11 マルチ画面オフボタン
2画面表示を終了します(☞21)。

12 2画面ボタン
画面を2画面表示(サイドバイサイド)します(☞21)。

13 P IN Pボタン
画面を2画面表示(ピクチャーインピクチャー)します(☞21)。

14 画面選択ボタン
2画面モード中のアクティブな画面を選択します(☞22)。メモ画面機能実行中は、子画面に静止画を表示します。

15 ビデオ1,2,3ボタン
ビデオ1,2,3入力に切換えます。

16 コンポーネント1ボタン
コンポーネント1入力に切換えます。

17 PC2/コンポーネント2ボタン
PC2/コンポーネント2入力に切換えます。

18 HDMIボタン
HDMI入力に切換えます。
対応信号については☞45をご参照ください。

19 ピクチャーメモリーボタン ……………… ☞27
押すごとにピクチャーメモリーの1〜6を順次呼び出して、映像の調整の設定内容を変更します。

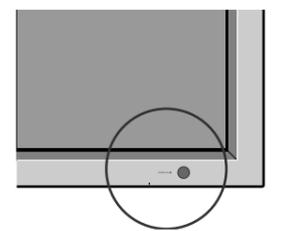
20 PC1ボタン
PC1入力に切換えます。

21 リモコン発光部 …………………………… ☞12
リモコン信号を発光します。

電源の入れかたと音量について

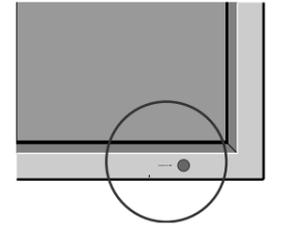
⚠ 注意

旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源の入れかた

POWER ボタンを押す

▶ 電源が入ります。

STANDBY/ONランプが緑色に点灯します。

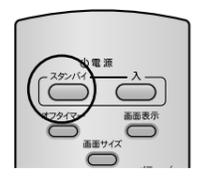
電源の切りかた

もう一度 POWER ボタンを押す

▶ 電源が切れます。

STANDBY/ONランプが消灯します。

リモコンで電源を「入／切」する

STANDBY/ONランプが消えていると（電源「切」の状態）、リモコンがはたらきません。ディスプレイのPOWERボタンで電源を入れてください。

リモコンで電源を切るときは

スタンバイボタンを押す

▶ スタンバイ（待機）状態になります。

STANDBY/ONランプが赤色に点灯します。

リモコンで電源を入れるときは

入ボタンを押す

▶ 電源が入ります。

STANDBY/ONランプが緑色に点灯します。

音量を調整する

音量ボタンを押す

▶ 音量が変わります。

ディスプレイのVOLUME ∨/∧ボタンでも操作できます。

● 本機にはスピーカが標準装備されていませんので、別売品をご用意ください。

一時的に音を消す

消音ボタンを押す

▶ 一時的に音が消えます。

もう一度押すと音が出ます。

お願い

ディスプレイのSTANDBY/ONランプについて

● **赤色と緑色が交互に点滅、または緑色が点滅**

ディスプレイの異常（赤色と緑色の点滅）、温度センサまたはファンの異常（緑色の点滅）を検出しています。
すぐにディスプレイの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。

● **赤色のみが点滅**

ディスプレイの内部温度が上がりすぎているため、プロテクタがはたらいています。すぐに以下のことを行ってください。

1. 主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 次の事項を確認し、必要な処置をしてください。
   - 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、適切な場所（気温5℃～35℃）に設置し直してください。
   - 周囲に50mm以上間隔をあけ、通風孔をふさがないでください。また、通風孔のほこりを掃除してください。
   - 本体の温度が下がるまで、約60分待ってください。
3. 以上のことを行っても解決しないときは、販売店にご相談ください。

リモコンで電源を切ったとき…（STANDBY/ONランプが赤色に点灯時）

ディスプレイはわずかに電力を消費しています。
お出かけやおやすみなど長時間本機をご使用にならないときは、ディスプレイ本体の電源を切ってください。

画面サイズを選ぶ

ビデオ・レーザーディスク・DVDなどをワイド画面で見るときの操作です。

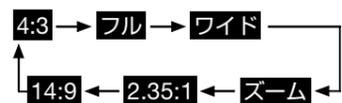
画面サイズボタンを押す

画面サイズが表示され、画面サイズの設定モードになります。押すごとに切換わります。

720P、1080Iの場合

フル ↔ 2.35:1

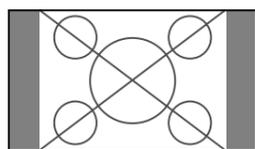
2画面表示の場合

4:3 ↔ フル

入力信号が720P、1080Iの場合はフル固定となります。

■微調整したいときは…

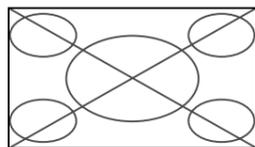
画面の位置やサイズを微調整できます。詳しくは、☞31を参照してください。

4:3画面サイズ

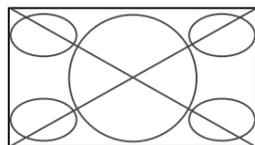
通常の画面サイズで楽しめます。

・通常の映像(4:3)で楽しめます。

フル画面サイズ

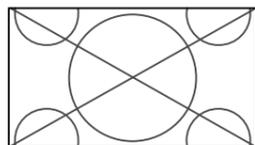
左右方向に拡大します。

・横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)を横長に戻して、画面いっぱいに映します。(通常の映像の場合は横長になります。)

ワイド画面サイズ

上下・左右をおのおのの比率で拡大します。

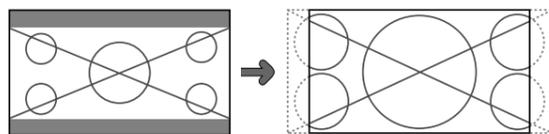
・通常の映像(4:3)をワイドな画面で楽しめます。

ズーム画面サイズ

上下・左右を同じ比率で拡大します。

・劇場サイズ(横長番組)の映画、第二世代クリアビジョン(EDTVⅡ)などが楽しめます。

2.35:1画面サイズ

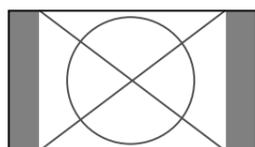
2.35:1のスクイーズ映像(映画等)を黒帯なしで画面いっぱいに表示します。ただし左右の映像は欠けて表示されます。

・ビデオ信号、コンポーネント信号(480I、480P、720P、1080I)、PC信号(スキャンコンバータによる525P)、HDMI信号(480I、480P、720P、1080I)に対応しています。

＊フルモードで、上下に黒帯のある映像では、焼き付きをおさえるために、2.35:1モードをお奨めします。

オリジナルの映像　この部分は欠けて表示されます。

14:9画面サイズ

映像を14:9のサイズに表示します。

・ビデオ信号、コンポーネント信号(480I、480P)、PC信号(スキャンコンバータによる525P)、HDMI信号(480I、480P)に対応しています。

お願い

4:3モード、14:9モードでのご注意

4:3モード、14:9モードの表示部と非表示部(映像のない部分)は、互いに明るさの差が激しいため、濃淡の強い焼き付きを起こす原因となります。よって、なるべく次のように調整することをお奨めします。

1. 映像の表示部と非表示部の明るさの差が縮まるように、サイドマスクを調整する。☞34
2. 映像と明るさを弱める。☞27,37

ただし、調整しても焼き付きを起こす時間が若干のびるだけで、焼き付きを抑えることはできません。できる限りフルモードでご使用ください。

著作権について

本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズ切換機能(フル、ワイド、ズーム、2.35:1、14:9)などを利用した、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

画面サイズとオリジナル映像について

本機は、各種の画面サイズ切換機能を備えています。ビデオなどソフトの映像比率(画面のたてと横の比率)と異なる画面サイズを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面サイズをお選びください。

お知らせ

映像のない部分の明るさを変えたいとき…

4:3モード、14:9モードのとき、画面の横や上に出る映像のない部分の明るさが設定できます。

詳しくは、☞34を参照してください。

画面サイズを選ぶ（パソコン）

パソコンの映像をワイド画面で見るときの操作です。

画面サイズボタンを押す

画面サイズが表示され、画面サイズの設定モードになります。

押すごとに切換わります。

入力信号	画面サイズボタンでの切換え
4:3	4:3／フル／ズーム(4:3信号の時)
4:3以外ワイド	フル*

*入力信号が"1280×768"の場合のみ"D BY D"(入力信号に対して表示画素が1対1に対応した表示方法)への切換えが可能です。

2画面表示の場合

4:3 ↔ フル

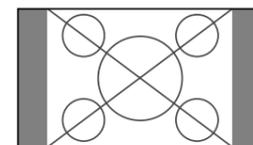
■微調整したいときは…

画面の位置やサイズを微調整できます。詳しくは、☞31を参照してください。

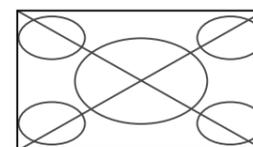
入力信号が4:3のとき

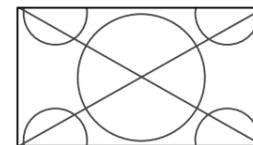
4:3画面サイズ

通常の画面サイズで楽しめます。

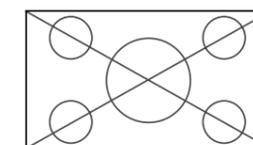
・通常の映像(4:3)で楽しめます。SXGA信号の場合は、5:4となります。

フル画面サイズ

左右方向に拡大します。

・横方向に圧縮された映像(スクイーズ映像)を横長に戻して、画面いっぱいに映します。(通常の映像の場合は横長になります。)

ズーム画面サイズ

上下・左右を同じ比率で拡大します。

入力信号が4:3以外のとき

フル画面サイズ

画面いっぱいに拡大します。

お知らせ

4:3モード、D BY Dモードでのご注意

4:3モード、D BY Dモードの表示部と非表示部(映像のない部分)は、互いに明るさの差が激しいため、濃淡の強い焼き付きを起こす原因となります。よって、なるべく次のように調整することをお奨めします。

1. 映像の表示部と非表示部の明るさの差が縮まるように、サイドマスクを調整する。☞34
2. 映像と明るさを弱める。☞27,37

ただし、調整しても焼き付きを起こす時間が若干のびるだけで、焼き付きを抑えることはできません。できる限りフルモードでご使用ください。

映像のない部分の明るさを変えたいとき…

4:3モード、D BY Dモードのとき、画面の横や上に出る映像のない部分の明るさが設定できます。

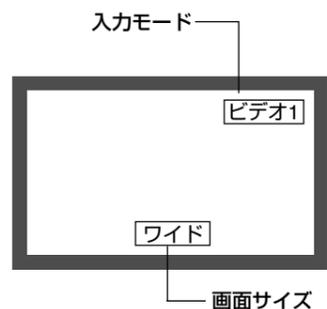
詳しくは、☞34を参照してください。

サポートする入力信号、解像度について

本機がサポートする入力信号、解像度については、☞41を参照してください。

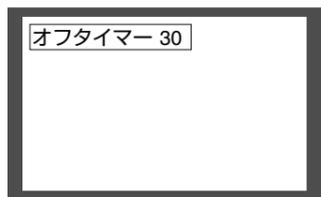
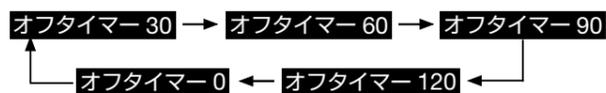
画面サイズを出す

現在選ばれている画面サイズをディスプレイに表示させる操作です。

画面表示ボタンを押す
・画面サイズが表示されます。

画面表示は3秒後に消えます。

オフタイマーを設定する

電源を切る時間（30分・60分・90分・120分）を設定します。

オフタイマーボタンを押す
・オフタイマーが表示されます。

押すごとに切換わります。

目的の時間を選んでお待ちください。

表示が消えるとタイマーが開始します。

残り時間を見るとき

オフタイマーボタンを1回押す
・残り時間が表示され、しばらくすると消えます。
・電源が切れる5分前になると自動的に表示してお知らせします。

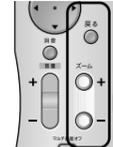
オフタイマーを解除するとき

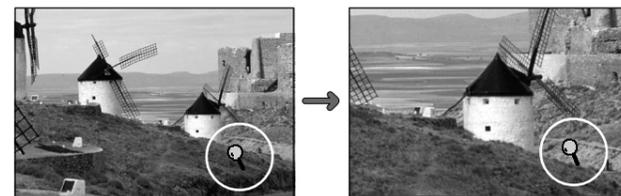
オフタイマーボタンを続けて2回押す
・これでオフタイマーが解除されました。

お願い

オフタイマーで電源を切ったとき…
ディスプレイはわずかに電力を消費しています。お出かけなど長時間本機をご使用にならないときは、ディスプレイの電源を切ってください。

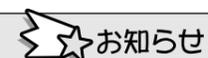
画像を拡大する

画像の一部分を拡大して見るときの操作です。

1 ズーム（＋または－）ボタンを押す
・画面中央に 🔍 が表示されます。

2 ズーム＋ボタンを押す
・最初に合わせた 🔍 付近の画像を中心に拡大していきます。

■拡大した画像を縮小したいときは…
ズーム－ボタンを押すと、画像が縮小します。

■拡大した画像の表示位置を移動したいときは…
▲▼◀▶ボタンで 🔍 を移動してください。🔍 ごと画像が移動します。

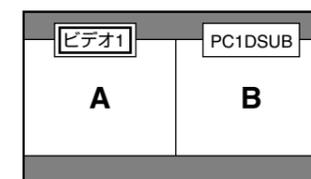
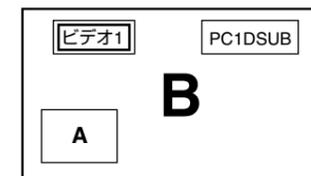
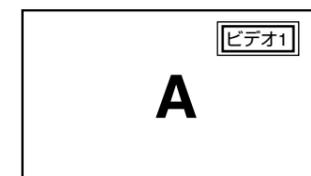
3 戻るボタンを押す
・🔍 が消え、画像の拡大が終わりました。

お知らせ

画像の拡大について
・画像の拡大は、メニュー操作からも同様に行うことができます。詳しくは、☞31を参照してください。
・画面サイズがワイドのときは画像の拡大・縮小はできません。
・ズーム ナビ機能により、子画面に全体を表示しながら、親画面で画像の拡大を行うこともできます。

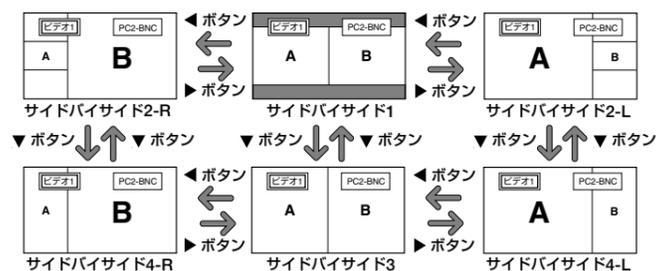
2画面表示にする

2つの入力信号を1つの画面に同時に表示します。
サイドバイサイドとピクチャーインピクチャーの2つの形式があります。

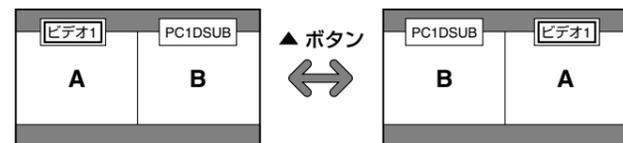
例 【ビデオ1】画面のとき【PC1DSUB】画面と2画面表示にする

2画面ボタン
・サイドバイサイドになります。
　このときアクティブ画面は【ビデオ1】です。

P IN Pボタン
・ピクチャーインピクチャーになります。
　このときアクティブ画面は【ビデオ1】です。

マルチ画面オフボタン
・通常の画面に戻ります。

サイドバイサイドでの操作

■画面サイズを変えたいときは…

◀▶▼ ボタンを押すごとに画面サイズが変わります。

■左右の画面を入換えたいときは…

▲ ボタンを押すごとに左画面と右画面が入換わります。

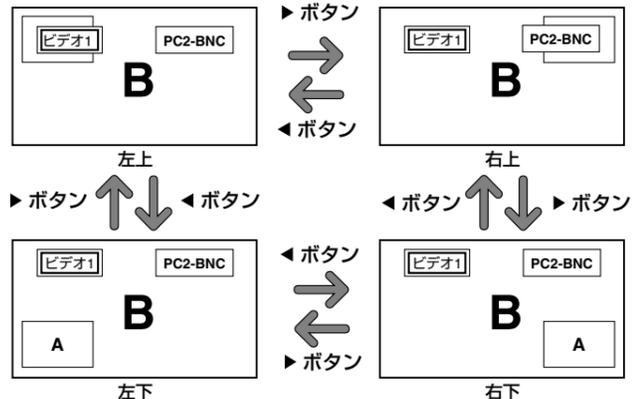
＊表示位置が変わるだけで、アクティブ画面は変わりません。

■アクティブ画面を切換えたいときは…

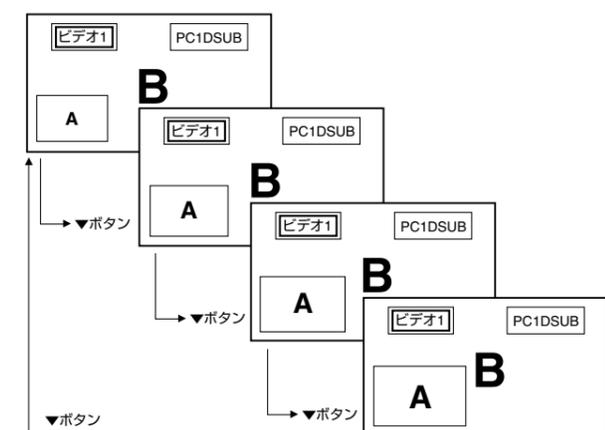
画面選択ボタンを押すごとにアクティブ画面が変わります。
アクティブ画面に対しては、入力切換え、画像の拡大やメニューによる調整が行えます。

☞ **23**を参照してください。

ピクチャーインピクチャーでの操作

■サブ画面の位置を変えたいときは…

◀▶ ボタンを押すごとにサブ画面の位置が変わります。

■サブ画面のサイズを変えたいときは…

▼ ボタンを押すごとにサブ画面のサイズが変わります。

■アクティブ画面を切換えたいときは…

画面選択ボタンを押すごとにアクティブ画面が変わります。
アクティブ画面に対しては、入力切換え、画像の拡大（メイン画面のみ）やメニューによる調整が行えます。

☞ **23**を参照してください。

お知らせ

2画面表示できる組み合わせ

2画面表示できる入力の組合せは、下の表のようになっています（○が可能）。

		右画面／メイン画面（セレクト1）						
		ビデオ1	ビデオ2	ビデオ3	コンポ1	PC2 コンポ2	PC1	HDMI
左画面／サブ画面（セレクト2）	ビデオ1	×	×	×	○	○	○	○
	ビデオ2	×	×	×	○	○	○	○
	ビデオ3	×	×	×	○	○	○	○
	コンポ1	○	○	○	×	○	○	○
	PC2 コンポ2	○	○	○	○	×	○	○
	PC1	○	○	○	○	○	×	○
	HDMI	○	○	○	○	○	○	×

2画面表示の調整や設定をするとき

メニュー/決定ボタンを押す

・アクティブ画面側に「メインメニュー」が表示されます。

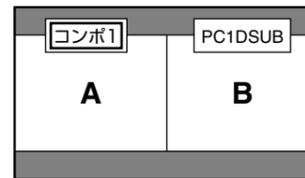
※メニュー操作のしかたについては、☞ **24**を参照してください。

※2画面表示中は、調整できないメニュー項目が一部あります。

2画面で表示する入力信号を切換えるとき

例 アクティブ画面が左画面のとき、コンポ1画面を見る

コンポーネント1ボタンを押す

・コンポ1画面になります。

2画面で画像を拡大するとき

ズーム＋/－ボタンでアクティブ画面の画像を拡大することができます。
ただし、ピクチャーインピクチャーのサブ画面の画像は拡大できません。

☞ **22**を参照してください。

メニュー操作のしかた

調整や設定は、メインメニューからメニュー項目を選んで行います。
ここでは、メニュー操作のしかたと項目の内容をご説明します。
調整や設定のしかたは、それぞれのページをご参照ください。

メニュー操作に使うボタン

メニュー／決定ボタン

メインメニューを表示します。

メインメニューの表示中は、選択や設定した内容を決定し、次のステップに進みます。

※ディスプレイのMENU/SETボタンでも操作できます。

カーソルボタン

項目や設定内容を選んだり、調整するボタンです。

▲ カーソルが上に移動します。

▶ カーソルが右に移動します。サブメニュー(設定／調整画面)の表示中は、設定項目を選んだり調整数値のアップを行います。

▼ カーソルが下に移動します。

◀ カーソルが左に移動します。サブメニュー(設定／調整画面)の表示中は、設定項目を選んだり調整数値のダウンを行います。

※ディスプレイの ＜/＞ボタン、VOLUME ∨/∧ボタンでも操作できます。

戻るボタン

サブメニュー(設定／調整画面)の表示中は、メインメニューに戻ります。

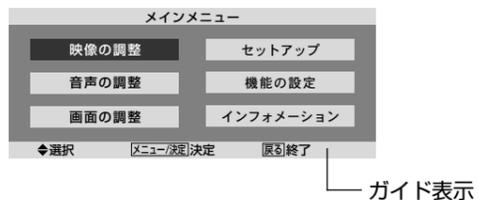
メインメニュー表示中は、メインメニューを消します。

※ディスプレイのINPUT/EXITボタンでも操作できます。

メイン／サブメニューへの入り方

- **メニュー／決定ボタンを押す**

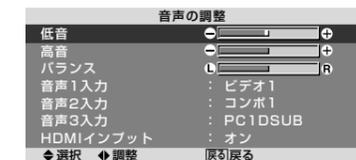
「メインメニュー」画面になります。

画面下の「ガイド表示」に、使えるボタンの案内が出ます。

- **▲▼ボタンで設定したい項目を選ぶ**

▲▼ボタンを押すたびに、カーソルが移動します。

- **メニュー／決定ボタンを押す**

「サブメニュー」画面になります。

音声の調整
低音
高音
バランス
音声1入力 ： ビデオ1
音声2入力 ： コンポ1
音声3入力 ： PC1DSUB
HDMIインプット ： オン
⬍選択 ⬌調整 戻る 戻る

メイン／サブメニューからのぬけ方

- **戻るボタンを押す**

サブメニュー表示中は、1つ前のメニューに戻ります。メインメニュー表示中は、メインメニューを消します。

- 画面下のバーで調整する場合は、5秒以上 ◀▶ ボタンを押さないでいると、調整が確定して、ひとつ前の画面に戻ります。

メニュー一覧

(網掛け)は、初期値を表しています。◀ボタン▶ボタンで調整ができます。

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	初期設定に戻る	参照ページ
映像の調整	ピクチャーメモリー	オフ／メモリー1～6			○	27
	映像	－←→＋ (0←52→72)			○	27
	明るさ	－←→＋ (0←32→64)			○	27
	画質	－←→＋ (0←16→32)			○	27
	色の濃さ	－←→＋ (0←32→64)			○	27
	色あい	R←→G (0←32→64)			○	27
	DNR	しない／低／中／高			○	28
	色温度	低／中低／中／高			○	28
	ホワイトバランス	R.HIGH	－←→＋ (0←40→70)		○	28
		G.HIGH	－←→＋ (0←40→70)		○	28
		B.HIGH	－←→＋ (0←40→70)		○	28
		R.LOW	－←→＋ (0←40→70)		○	28
		G.LOW	－←→＋ (0←40→70)		○	28
		B.LOW	－←→＋ (0←40→70)		○	28
		リセット	オフ←→オン		○	28
	ガンマ	2.1←→2.2←→2.3←→2.4			○	28
	ダークモード	オート←→1←…→3			○	29
	セットアップレベル	0←→3.75←→7.5			○	29
	カラーマネジメント	レッド	Y←→M (0←32→64)		○	29
		グリーン	C←→Y (0←32→64)		○	29
		ブルー	M←→C (0←32→64)		○	29
		イエロー	G←→R (0←32→64)		○	29
		マゼンダ	R←→B (0←32→64)		○	29
		シアン	B←→G (0←32→64)		○	29
		リセット	オフ←→オン		○	29
	ピュアシネマ	オフ←→オン			○	29
	AVセレクション	ダイナミック／標準／映画1／映画2／デフォルト			○	30
音声の調整	低音	－←→＋ (0←13→26)			○	30
	高音	－←→＋ (0←13→26)			○	30
	バランス	L←→R (-22←0→+22)			○	30
	音声1入力	ビデオ1～3／コンポ1～2／PC1DSUB／PC2-BNC			○	31
	音声2入力	ビデオ1～3／コンポ1～2／PC1DSUB／PC2-BNC			○	31
	音声3入力	ビデオ1～3／コンポ1～2／PC1DSUB／PC2-BNC			○	31
	HDMIインプット	オン←→オフ			○	31
画面の調整	画面サイズ	4:3／フル／ワイド／ズーム／2.35:1／14:9／D BY D			—	31
	垂直位置	－←→＋ (-64←0→+64)			○	31
	水平位置	－←→＋ (-128←0→+127)			○	31
	垂直サイズ	－←→＋ (0←→64)			○	31
	水平サイズ	－←→＋ (0←→64)			○	31
	自動調整	オフ←→オン*2			×	32
	クロック位相*1	－←→＋*2 (0←→64)			○	32
	クロック周波数*1	－←→＋*2 (0←64→128)			○	32
セットアップ	BNCインプット	RGB←→コンポーネント			○	32
	D-SUBインプット	RGB			—	32
	HDセレクト	1080I／1035I／540P			×	32
	RGBセレクト	オート／スチル／動画／ワイド1／ワイド2／ワイド3／ワイド4／DTV			○	33
	HDMIセットアップ	カラー1←→カラー2			×	33
	カラーシステム	オート／3.58NTSC／4.43NTSC／PAL／PAL60／PAL-N／PAL-M／SECAM			×	33
	バックグラウンド	ブラック←→グレー			○	34
	サイドマスク	0←…→3←…→15			○	34
	S1／S2	オート←→オフ			○	34
	メニュー表示	オフ←→オン			○	34
	メニュー位置の調整	左上／中上／右上／左下／中下／右下			○	35
	オールリセット	オフ←→オン			—	35
機能の設定	パワーマネジメント	オフ←→オン			○	35
	インプットスキップ	オフ←→オン			○	36
	サブ画面モード	オフ←→オート			○	36
	ズーム ナビ	オフ／サイド×サイド／左下／右下／右上／左上			○	36
	メモ画面	オフ／サイド×サイド1／サイド×サイド2／左下／右下／右上／左上			○	37

メニュー一覧

メインメニュー	サブメニュー1	サブメニュー2	サブメニュー3	サブメニュー4	初期設定に戻る	参照ページ
機能の設定	そのほかの設定	マニュアル／オート			○	37
		ABL	100／75／50／25		○	37
		オービター	オート1／オート2／オフ		○	38
		リバース／ホワイト	オフ／リバース／ホワイト		○	38
		スクリーンワイパー	オフ／オン		○	38
		ソフトフォーカス	オフ／レベル1〜4		○	38
		画面表示シフト	オフ←→オン		○	39
		OSDコントラスト	低←→ノーマル		○	39
インフォメーション	—				—	39

＊1 ：【自動調整】で【オフ】を選択時にのみ表示、調整可能
＊2 ：自動調整・クロック位相・クロック周波数は、PCのときのみ表示されます

お知らせ

初期設定に戻る

ご購入時の内容に戻したいときは、セットアップの設定で【オールリセット】を選んでください。ただしその他の各設定も、ご購入時の内容に戻りますのでご注意ください。

詳しくは、☞35を参照してください。

映像の調整

ピクチャーメモリー

現在の入力信号と「映像の調整」メニューの各項目の設定内容を記憶させ、必要なときに呼び出して再現する機能です。

ピクチャーメモリーは6組あり、それぞれ15文字までのメモを付けることができます。

例 メモリー1に記憶させる

「映像の調整」メニューから【ピクチャーメモリー】を選び、メニュー/決定ボタンを押す。

・「ピクチャーメモリー」画面になります。

お知らせ

ピクチャーメモリーの設定について

● オフ
ピクチャーメモリーを使用しない。

● メモリー1〜6
指定番号のピクチャーメモリーを使用する。入力信号に関わらず、利用できるメモリーは最大６つです。

メモリーに記憶させるには…

・▲▼ボタンでメモリー1〜6を選択する。
・◀▶ボタンで"セット"を選び、メニュー/決定ボタンを押す。
・必要ならメモを入力する。

メモリーを消去するには…

・▲▼ボタンでメモリー1〜6を選択し、◀▶ボタンで"リセット"を選び、メニュー/決定ボタンを押す。
記憶内容がクリアされ、入力、信号、メモの欄に"-"が表示される。

メモを入力するには…

・▲▼ボタンでメモリー1〜6を選択し、◀▶ボタンで"メモ"を選び、メニュー/決定ボタンを押す。
・メモを入力する。
▲▼ボタン…文字を選択
◀▶ボタン…カーソルを移動
戻るボタン…カーソル位置の１文字を削除
・入力し終ったら、メニュー/決定ボタンを押す。

映像の調整

映像・明るさ・画質・色の濃さ・色あいを調整します。

例 【明るさ】を調整する

「映像の調整」メニューから【明るさ】を選び、調整する

映像の調整
ピクチャーメモリー ： オフ
映像
明るさ
画質
色の濃さ
色あい
DNR ： 低
色温度 ： 中
ガンマ ： 2.1
ダークモード ： オート
セットアップレベル ： 0
カラーマネージメント
ピュアシネマ ： オン
AVセレクション ： ダイナミック
選択 調整 戻る 戻る

明るさ 64

お願い

"調整できません"と表示が出たとき…

AVセレクションの設定で【デフォルト】以外を選んでください。詳しくは、☞30を参照してください。

お知らせ

映像の調整について

映像の調整はビデオ、パソコンなどすべての画面に共通です。

パソコン画面の映像調整について

パソコン画面では、映像と明るさのみの調整となります。

ご購入時の内容に戻したいときは…

AVセレクションの設定で【デフォルト】を選んでください。詳しくは、☞30を参照してください。

調整画面について

映像の調整

映像の濃淡が変わります。

◀ 淡 濃 ▶

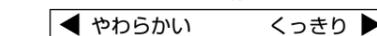
明るさの調整

画面の明るさが変わります。

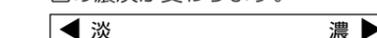
◀ 暗 明 ▶

画質の調整

画面の鮮明度が変わります。
やわらかい画質からくっきりした画質まで、お好みに合わせて調整してください。
PC入力では、4段階で調整します。

◀ やわらかい くっきり ▶

色の濃さの調整

色の濃淡が変わります。

◀ 淡 濃 ▶

色あいの調整

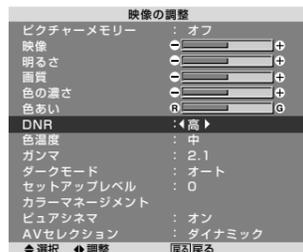
色あいが変わります。
肌色や風景などを自然な色あいに調整してください。

◀ 赤 緑 ▶

DNRの設定

ざらついた画面を見やすく設定します。

例 【高】に設定する

「映像の調整」メニューから【DNR】を選び、【高】に設定する

お知らせ

DNRとは…

- デジタルノイズリダクション(Digital Noise Reduction)機能を意味します。
- 映像のざらつきを減少させるはたらきをします。

DNRの種類について

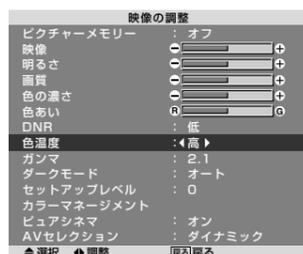
DNRは3種類の中から選ぶことができます。

- 低
  ざらつきが少なくなります。
- 高
  極端に効果が強くなります。
- 中
  さらに効果が強くなります。
- しない
  解除されます。

色温度の設定

色温度を設定します。

例 【高】に設定する

「映像の調整」メニューから【色温度】を選び、【高】に設定する

※それぞれの色温度ごとに、ホワイトバランスを調整することができます。「ホワイトバランスの調整」を参照してください。

お知らせ

色温度とは…

白色の色あいを数値的に表したものを色温度といいます。
単位はケルビン(K)で表します。
画面は色温度が低いと赤っぽく、高いと青っぽく表示されます。

色温度の種類について

- 低　　赤っぽく表示します
- 中低
- 中　　(標準)
- 高　　青っぽく表示します

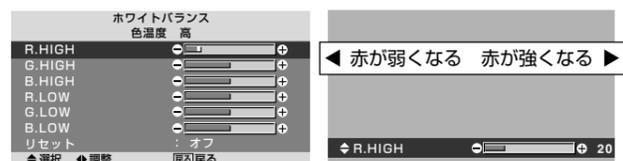
ホワイトバランスの調整

色温度ごとのホワイトバランスを調整します。

例 【色温度】【高】の【R.HIGH】を調整する

「映像の調整」メニューの【色温度】を【高】に設定し、メニュー/決定ボタンを押す

・「ホワイトバランス」画面になります。

【R.HIGH】を選び、調整する

お知らせ

ホワイトバランスの調整について

明るいときと暗いときの白色のバランスを調整します。

- R.HIGH
  白レベルの赤の強弱を調整。
- R.LOW
  黒レベルの赤の強弱を調整。
- G.HIGH
  白レベルの緑の強弱を調整。
- G.LOW
  黒レベルの緑の強弱を調整。
- B.HIGH
  白レベルの青の強弱を調整。
- B.LOW
  黒レベルの青の強弱を調整。
- リセット
  設定中の色温度のホワイトバランスを、ご購入時の設定に戻します。

ご購入時の内容に戻したいときは…

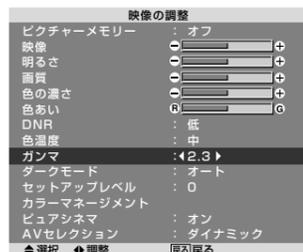
【リセット】を選び、◀▶ ボタンで【オン】を選んだ状態で、メニュー/決定ボタンを押してください。

ガンマの設定

ガンマカーブを設定します。

ガンマ設定により、中間調の明るさが変わります。

例 【2.3】に設定する

「映像の調整」メニューから【ガンマ】を選び、【2.3】に設定する

お知らせ

ガンマの設定について

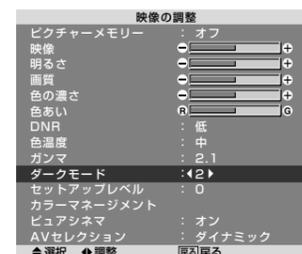
- 2.1　中間調を明るくする
- 2.2　(標準)
- 2.3
- 2.4　中間調を暗くする

＊値は目安です。

ダークモードの設定

影の部分の滑らかな再現のため、ディザリング処理／誤差拡散処理の動作モードを設定します。

例 【2】に設定する

「映像の調整」メニューから【ダークモード】を選び、【2】に設定する

お知らせ

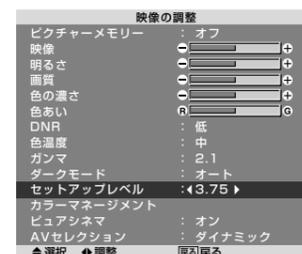
ダークモードの設定について

- オート …… 自動で画面に適した処理を行います。
- 1 ………… 静止画に適したディザリング処理を行います。
- 2 ………… 動画に適したディザリング処理を行います。
- 3 ………… 誤差拡散処理を行います。

セットアップレベルの調整

映像の黒のレベル(ペデスタルレベル)を調整します。

例 【3.75】に設定する

「映像の調整」メニューから【セットアップレベル】を選び、【3.75】に設定する

お知らせ

セットアップレベルの調整について

0………通常の状態
3.75……通常より3.75%減に設定
7.5……通常より7.5%減に設定

カラーマネジメントの調整

レッド、グリーン、ブルー、イエロー、マゼンタ、シアンの各色付近の色を調整します。

例 グリーンを調整する

「映像の調整」メニューから【カラーマネジメント】を選び、メニュー/決定ボタンを押す

・「カラーマネジメント」画面になります。

【グリーン】を選び、調整する

レッド	◀イエローに調整	マゼンタに調整▶
グリーン	◀シアンに調整	イエローに調整▶
ブルー	◀マゼンタに調整	シアンに調整▶
イエロー	◀グリーンに調整	レッドに調整▶
マゼンタ	◀レッドに調整	ブルーに調整▶
シアン	◀ブルーに調整	グリーンに調整▶

お知らせ

カラーマネジメントについて

調整は、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、マゼンタ、シアンの各色ごとに行います。このため、草木の緑を艶やかに見せる、空の青色をより強調する、などの調整が行えます。

ご購入時の内容に戻したいときは…

【リセット】を選び、◀▶ボタンで【オン】を選んだ状態で、メニュー/決定ボタンを押してください。

ピュアシネマ

DVDソフトに記録された映像情報に合わせて、設定します。

NTSC、PAL、PAL60、480I(60Hz)、525I(60Hz)、1035I(60Hz)、1080I(60Hz)のときのみ、有効です。

例 【オフ】に設定する

「映像の調整」メニューから【ピュアシネマ】を選び、【オフ】に設定する

お知らせ

ピュアシネマとは…

DVDソフトに記録された映像情報を、プログレッシブ出力するための変換モードです。

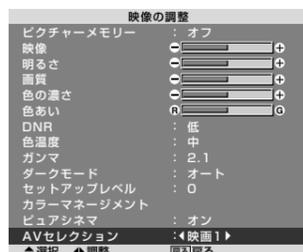
ピュアシネマの設定について

- オン
  通常は、【オン】を選びます。
  【オン】は、DVDソフトに記録された映像情報がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。
- オフ
  ビデオ素材として記録されたDVDソフトの再生に適したモードです。プログレッシブ出力に変換します。

AVセレクション

部屋の明るさや映像ソフトに合わせて、映像モードを設定します。

例 【映画1】に設定する

「映像の調整」メニューから【AVセレクション】を選び、【映画1】に設定する

お知らせ

映像モードの種類について

● 映画1 、2
暗いお部屋で見るときに設定します。
映画館のような、暗い画面で繊細さを重視した映像になります。
映画2は、映画1よりさらに暗い映像になります。

● 標準
明るいお部屋で見るときに設定します。
明暗がはっきりした、メリハリのある映像になります。

● ダイナミック
標準よりも明るいお部屋で見たいときに設定します。

● デフォルト
ご購入時の映像調整状態に戻ります。

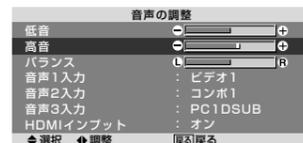
PC入力時は "標準" となります。

音声の調整

音声の調整

低音・高音・左右のバランスを調整します。

例 【高音】を調整する

「音声の調整」メニューから【高音】を選び、調整する

お願い

【音声の調整】を選択して"調整できません"と表示が出たときは…

【音声入力1〜3】の設定を確認してください。

調整画面について

低音の調整

低音の強弱が変わります。

◀ 弱い 強い ▶

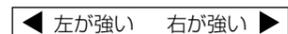
高音の調整

高音の強弱が変わります。

◀ 弱い 強い ▶

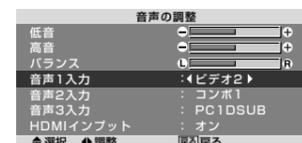
バランスの調整

音の中心が左右に変わります。

◀ 左が強い 右が強い ▶

音声入力

ディスプレイ背面の各音声入力端子に接続した機器の信号に合わせて、音声入力を設定します。

例 【音声入力1】を【ビデオ2】に設定する。

「音声の調整」メニューから【音声入力1】を選び、【ビデオ2】に設定する

お願い

【音声入力1〜3】に重複して入力信号を選択することはできません。

入力信号が選べないときは…

その他の【音声入力】に、選択したい入力信号が割りあてられていないか確認してください。

お知らせ

音声入力の設定について

● 音声入力1
音声1入力端子に接続した機器の信号に合わせて設定します。

● 音声入力2
音声2入力端子に接続した機器の信号に合わせて設定します。

● 音声入力3
音声3入力端子に接続した機器の信号に合わせて設定します。

HDMIインプットの設定について

● オン
HDMI端子に入力されるデジタルオーディオ信号を有効にします。

● オフ
デジタルオーディオ信号を無効にします。

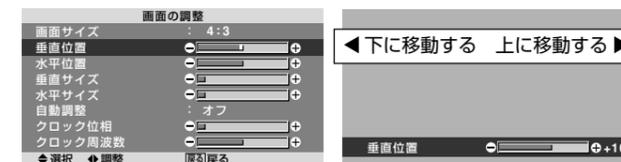
画面の調整

画面の調整

画面の垂直位置・水平位置・垂直サイズ・水平サイズを調整します。組み合わせると、画像を拡大して見ることができます。

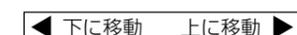
例 【垂直位置】を調整する

「画面の調整」メニューから【垂直位置】を選び、調整する

■画面サイズを変更したいときは…
【画面サイズ】を選び、◀▶ ボタンで画面サイズを変更してください。

調整画面について

垂直位置の調整

映像の上下位置が変わります。

◀ 下に移動 上に移動 ▶

垂直サイズの調整

映像の上下サイズが変わります。

水平位置の調整

映像の左右位置が変わります。

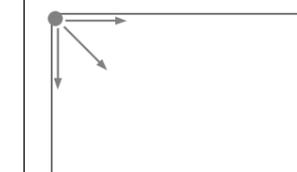
◀ 左に移動 右に移動 ▶

水平サイズの調整

映像の左右サイズが変わります。

お知らせ

調整の基準点について

垂直サイズ・水平サイズを調整するとき、調整の基準点は画面の左上になります。

画像の拡大について

画面サイズがワイドのときは垂直サイズ・水平サイズの調整はできません。
画像の拡大は、リモコンのズームボタンからも同様に行うことができます。詳しくは、☞21を参照してください。

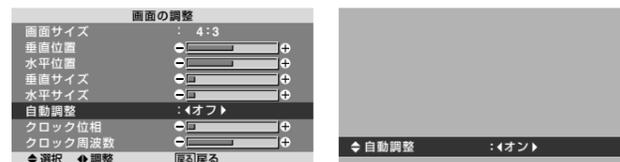
画面サイズについて

画面サイズは、リモコンの画面サイズボタンからも同様に設定できます。
画面サイズについて、詳しくは☞18,19を参照してください。

自動調整

自動調整を設定します。
【オン】に設定すると、クロック位相、クロック周波数、垂直水平位置が自動で調整されます。
PC1、2入力の静止画のときのみ有効です。
また、デジタルズームのときは、調整できません。

例　【オン】に設定する

「画面の設定」メニューから【自動調整】を選び、【オン】に設定する

お知らせ

自動調整とは…

クロック位相、クロック周波数、垂直水平位置を自動調整する機能です。入力がPC1、2のときのみ、自動調整の設定ができます。ただし、画面の拡大では、設定できません。
【自動調整】を【オン】に設定すると【垂直位置】【水平位置】も自動で調整されてしまいます。さらに変更したいときは、「画面の調整」メニューで【垂直位置】【水平位置】を調整してください。

ご自分で調整をしたい、調整できないときは…

入力信号によっては、最適な状態にならない場合があります。
このときは、自動調整を【オフ】にし、各項目を調整してください。

クロック位相・クロック周波数

クロック位相とクロック周波数を調整します。

例　クロック位相を調整する

「画面の調整」メニューから【クロック位相】を選び、調整する

お知らせ

クロック位相・クロック周波数について

PC1、2のときのみ、クロック位相・クロック周波数の調整ができます。
RGB、ビデオ、コンポーネントの動画では調整できません。

- **クロック位相の調整**
画面にちらつきが出たときに調整します。
- **クロック周波数の調整**
画面にしま模様が出たときに調整します。

セットアップ

BNCインプット

ディスプレイ背面のPC2/コンポーネント2端子に接続した機器の信号に合わせて、設定します。

例　【RGB】に設定する。

「セットアップ」メニューから【BNCインプット】を選び、【RGB】に設定する

お知らせ

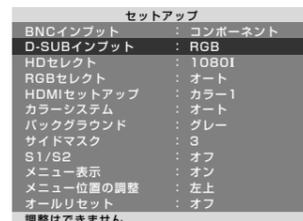
BNCインプットについて

- RGB
PC2/コンポーネント2端子に接続した機器の信号がRGB信号のときに設定します。
- コンポーネント
PC2/コンポーネント2端子に接続した機器の信号がコンポーネント信号のときに設定します。

D-SUBインプット

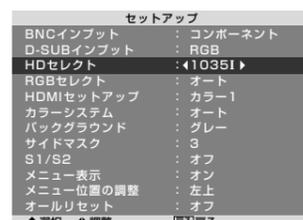
ディスプレイ背面のＰＣ１に接続した機器の信号が【RGB】に設定されていることを示します。
（日本国内では、設定できません）

D-SUBインプットが【RGB】に設定されています。

セットアップ	
BNCインプット	: コンポーネント
D-SUBインプット	: RGB
HDセレクト	: 1080I
RGBセレクト	: オート
HDMIセットアップ	: カラー1
カラーシステム	: オート
バックグラウンド	: グレー
サイドマスク	: 3
S1/S2	: オフ
メニュー表示	: オン
メニュー位置の調整	: 左上
オールリセット	: オフ
調整はできません	

HDセレクト

入力する高精細映像の垂直ライン（1035本、1080本または540本）を設定します。

例　【1035 I】に設定する

「セットアップ」メニューから【HDセレクト】を選び、【1035 I】に設定する

お知らせ

HDセレクトの設定について

- 1035 I
日本のハイビジョン放送（MUSE）を見るときに設定します。
- 540 P
特殊なデジタル放送を見るときに設定します。（PC入力のみ有効）
- 1080 I
標準のデジタル放送を見るときに設定します。

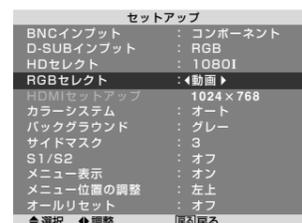
RGBセレクト

パソコンから入力される信号に合ったモードに設定します。

例　【動画】に設定する

「セットアップ」メニューから【RGBセレクト】を選び、【動画】に設定する

・1行下に、現在の解像度が表示されます。

セットアップ	
BNCインプット	: コンポーネント
D-SUBインプット	: RGB
HDセレクト	: 1080I
RGBセレクト	:◀動画▶
HDMIセットアップ	1024×768
カラーシステム	: オート
バックグラウンド	: グレー
サイドマスク	: 3
S1/S2	: オフ
メニュー表示	: オン
メニュー位置の調整	: 左上
オールリセット	: オフ
選択　調整	戻る 戻る

お知らせ

RGBセレクトの設定について

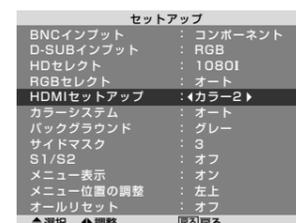
- オート
「サポートする入力信号」（41参照）のとおりに判別します。通常は【オート】に設定してご使用ください。
- スチル
VESAスタンダード信号を判別します。RGB信号の静止画を見るときに設定します。
- 動画
スキャンコンバータなどのビデオ信号をRGB信号に変換して動画を見やすくします。パソコン画面で動画を見るときに設定します。
- ワイド1
852ドット×480ライン、垂直周波数：60Hz、水平周波数：31.7kHzのワイド*VGA信号を入力するときに設定します。
- ワイド2
848ドット×480ライン、垂直周波数：60Hz、水平周波数：31.0kHzのワイド*VGA信号を入力するときに設定します。
- ワイド3
1920ドット×1200ライン、垂直周波数：60Hz、水平周波数：74kHzのワイド*VGA信号を入力するときに設定します。
*VGAは米国International Business Machines,Inc.の登録商標です。
- ワイド4
1280 ×768 ライン、垂直周波数：59.8kHz または、1680 ×1050 ライン、垂直周波数：60kHz のワイド*VGA 信号を入力するときに設定します。
*VGA は米国International Business Machines,Inc.の登録商標です。
- DTV（デジタル放送）
デジタル放送（480P）のときに設定します。
・480Pとは480本で順次走査するデジタル地上波放送です。

HDMIセットアップの設定

HDMIコネクタに接続する信号のブラックレベルを設定します。

例　【カラー2】に設定する

「セットアップ」メニューから【HDMIセットアップ】を選び、【カラー2】に設定する

セットアップ	
BNCインプット	: コンポーネント
D-SUBインプット	: RGB
HDセレクト	: 1080I
RGBセレクト	: オート
HDMIセットアップ	:◀カラー2▶
カラーシステム	: オート
バックグラウンド	: グレー
サイドマスク	: 3
S1/S2	: オフ
メニュー表示	: オン
メニュー位置の調整	: 左上
オールリセット	: オフ
選択　調整	戻る 戻る

お知らせ

HDMIセットアップの設定について

- カラー1
セットトップボックス、DVD等接続時、黒色がグレーに見えるときに設定します。
- カラー2
ブラックレベルを低く（黒く）設定します。

カラーシステム

カラーシステム（オート・PAL・PAL－M・PAL－N・PAL60・SECAM・4.43NTSC・3.58NTSC）を設定します。

例　【3.58NTSC】に設定する

「セットアップ」メニューから【カラーシステム】を選び、【3.58NTSC】に設定する

セットアップ	
BNCインプット	: コンポーネント
D-SUBインプット	: RGB
HDセレクト	: 1080I
RGBセレクト	: オート
HDMIセットアップ	: カラー1
カラーシステム	:◀3.58NTSC▶
バックグラウンド	: グレー
サイドマスク	: 3
S1/S2	: オフ
メニュー表示	: オン
メニュー位置の調整	: 左上
オールリセット	: オフ
選択　調整	戻る 戻る

お知らせ

カラーシステムについて

通常は【オート】に設定してご使用ください。

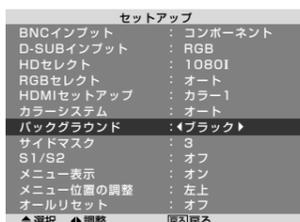
- オート
自動的にカラーシステムを検出し、切換えます。
- PAL(B,G)
主に、イギリス・ドイツが標準システムとしています。
- PAL-M
主に、ブラジルが標準システムとしています。
- PAL-N
主に、アルゼンチンが標準システムとしています。
- SECAM
主に、フランス・ロシアが標準システムとしています。
- 4.43NTSC・PAL60
主に、PAL/SECAM圏でVTRに使用しているシステムです。
- 3.58NTSC
主に、日本・アメリカが標準システムとしています。

バックグラウンドの調整

信号入力のない時に表示される背景色をグレーに設定することができます。

この設定にすると、信号が入力されていない状態が分かりやすくなります。

例 【ブラック】に設定する

「セットアップ」メニューから【バックグラウンド】を選び、【ブラック】に設定する

お知らせ

バックグラウンドの調整について

- ブラック

背景色は黒で表示されます。

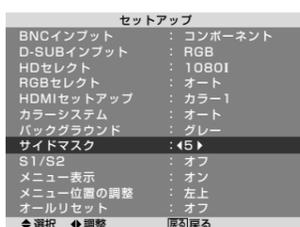
- グレー

背景色は灰色で表示されます。

サイドマスク

4:3モード、D BY Dモードのとき、画面の横や上に出る映像のない部分の明るさを設定します。

例 【5】に設定する

「セットアップ」メニューから【サイドマスク】を選び、【5】に設定する

お知らせ

サイドマスクの調整について

0…黒色

↓ だんだん明るくなる

15…明るい灰色

お願い

サイドマスクの調整について

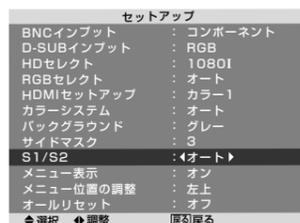
4:3モードの表示部と非表示部(映像のない部分)は、互いに明るさの差が激しいため、濃淡の強い焼き付きを起こす原因となります。☞9の4:3モード、D BY Dモードでのご注意を参照ください。

S1/S2

【オフ】に設定すると、S映像信号の画面サイズ制御信号に関わらず、設定した画面サイズで表示します。

ビデオ3(S端子)接続のときのみ有効です。

例 【オート】に設定する

「セットアップ」メニューから【S1/S2】を選び、【オート】に設定する

お知らせ

S1/S2の設定について

- オフ

S1/S2機能は、はたらきません。

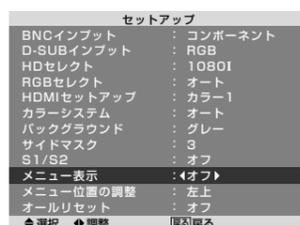
- オート

S1/S2機能がはたらき、自動的に最適な画面サイズで表示されます。

メニュー表示

画面表示ボタンを押しても、画面サイズ等が表示されないようにできます。

例 【オフ】に設定する

「セットアップ」メニューから【メニュー表示】を選び、【オフ】に設定する

お知らせ

メニュー表示の設定について

- オン

画面サイズ、音量等が画面表示されます。

- オフ

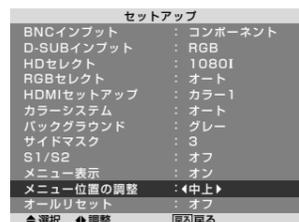
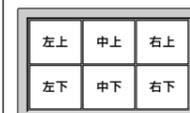
画面サイズ、音量等が画面表示されません。

機能の設定

メニュー位置の調整

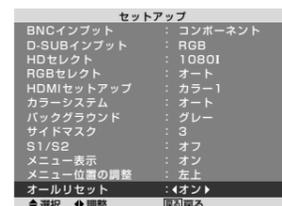
OSDメニューの表示位置を指定します。

例 【中上】に設定する

「セットアップ」メニューから【メニュー位置の調整】を選び、【中上】に設定する

オールリセット

調整や設定を初期値に戻します。

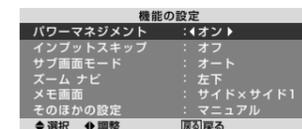
「セットアップ」メニューの【オールリセット】を【オン】に設定し、メニュー/決定ボタンを押す

・自動で各設定をご購入時の内容に戻します。

パワーマネジメント

パソコンを接続したとき、省電力ディスプレイとして使用できるように設定します。

例 【オン】に設定する

「機能の設定」メニューから【パワーマネジメント】を選び、【オン】に設定する

機能の設定
パワーマネジメント　：◀オン▶
インプットスキップ　：オフ
サブ画面モード　：オート
ズーム ナビ　：左下
メモ画面　：サイド×サイド1
そのほかの設定　：マニュアル
選択　調整　戻る戻る

お知らせ

パワーマネジメント機能について

- パワーマネジメント機能とは、一定時間キーボードまたはマウスを操作しない場合に、ディスプレイの消費電力を自動的に軽減させる省エネルギー機能です。
- パソコンの電源が入っていない場合やパソコンと本機が正しく接続されていない場合、パワーマネジメント機能がはたらき、本機は「オフステート」になります。
- パソコン側のパワーマネジメント機能については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パワーマネジメントの設定について

- オン

パワーマネジメント機能がはたらきます。

- オフ

解除されます。

STANDBY/ONランプについて

パワーマネジメント機能の状態は、ディスプレイのSTANDBY/ONランプで確認できます。

パワーマネジメントモード	STANDBY/ONランプ	パワーマネジメント動作状態	内容	復帰方法
オンステート	緑色	はたらいていません。	パソコンから水平／垂直同期信号が入力されています。	通常,パソコンを使用している状態ですので,必要ありません。
オフステート	赤色	はたらいています。	パソコンから水平／垂直同期信号が入力されていません。	キーボードやマウスを操作します。画面が表示されます。

インプットスキップ

ディスプレイ本体のINPUT/EXITボタンを押したとき、信号入力のない入力端子をスキップするかどうか設定します。

例 【オン】に設定する

「機能の設定」メニューから【インプットスキップ】を選び、【オン】に設定する

お知らせ

インプットスキップについて

● オン
信号のない入力をスキップします。
入力信号を探索中は「設定中」と表示されます。

● オフ
信号のない入力でもスキップしません。

サブ画面モード

ピクチャーインピクチャーの2画面表示中に、子画面の入力信号がなくなった場合、子画面の黒枠表示を自動的に消すことができます。
サイドバイサイドの2画面表示では、サブ画面モード機能ははたらきません。

例 【オフ】に設定する

「機能の設定」メニューから【サブ画面モード】を選び、【オフ】に設定する

お知らせ

サブ画面モード機能について

・入力信号がなくなった場合に、子画面が消えます。
・入力信号がない状態とは、映像信号および同期信号がない状態のことです。
・子画面が消えた状態では、ズーム ナビ、メモ画面の機能ははたらきません。また、画面サイズボタンははたらきません。

サブ画面モードの設定について

● オート
2画面表示で子画面の入力がない場合、黒枠表示を約3秒後に消します。
その後、子画面の入力が復帰したときは、再び子画面を表示します。

● オフ
入力がない子画面は、黒枠表示のままとなります。

ズーム ナビ

【オフ】以外に設定すると、ズーム+/−ボタンで画像を拡大するとき、子画面に全体を表示しながら、親画面に拡大した画像を表示することができます。

例 【サイド×サイド】に設定する

「機能の設定」メニューから【ズーム ナビ】を選び、【サイド×サイド】に設定する

お知らせ

ズーム ナビ機能について

・入力信号がPC1、2のときのみ有効です。
・2画面表示のときははたらきません。
・メモ画面が動作中には、機能しません。
・この機能が動作中に2画面表示にした場合は、この機能は解除されます。

ズーム ナビの設定について

● オフ
子画面表示をしません。

● サイド×サイド
ズーム時、サイドバイサイドの子画面に全体を表示します。

● 左下〜左上
ズーム時、ピクチャーインピクチャー(左下〜左上)の子画面に全体を表示します。

サイドバイサイド　　ピクチャーインピクチャー

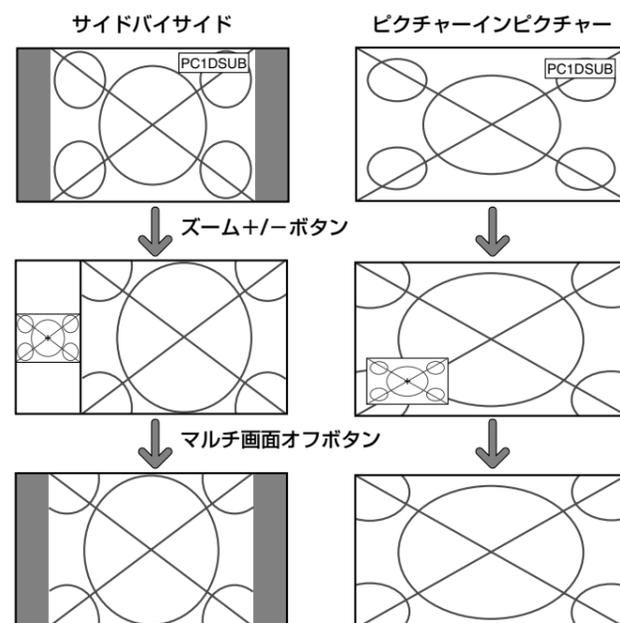
ズーム+/−ボタン

マルチ画面オフボタン

メモ画面

【オフ】以外に設定すると、画面選択ボタンを押した時の映像を、静止画として子画面に表示することができます。

例 【左下】に設定する

「機能の設定」メニューから【メモ画面】を選び、【左下】に設定する

お知らせ

メモ画面機能について

・入力信号がPC1、2のときのみ有効です。
・2画面表示のときははたらきません。
・この機能が動作中は、デジタルズームはできません。
・この機能が動作中に再度、画面選択ボタンを押した場合は、この機能は解除されます。
・この機能が動作中に2画面表示にした場合は、この機能は解除されます。

メモ画面の設定について

● オフ
メモ画面の機能がはたらきません。

● サイド×サイド1、サイド×サイド2
画面選択ボタンを押した時の静止画を、サイドバイサイドの子画面に表示します。

● 左下〜左上
画面選択ボタンを押した時の静止画を、ピクチャーインピクチャー(左下〜左上)の子画面に表示します。

サイドバイサイド　　ピクチャーインピクチャー

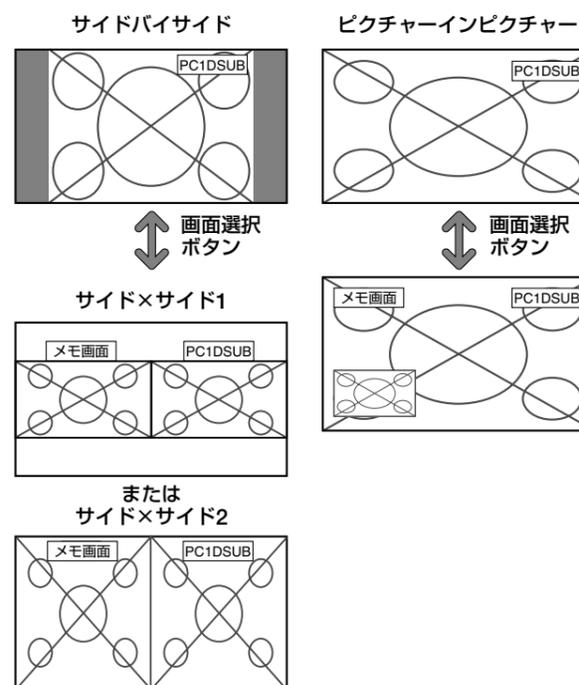
画面選択ボタン　　画面選択ボタン

サイド×サイド1

または
サイド×サイド2

そのほかの設定

画面の焼き付き軽減のため、画面の表示位置を一定時間ごとに移動させる(オービター)など、各種設定を行います。

「機能の選択」メニューの【そのほかの設定】を【マニュアル】に設定し、メニュー/決定ボタンを押す
・「そのほかの設定」画面になります。

お知らせ

オートに設定した場合は…

次のように自動的に設定されます。

ABL:	100
オービター:	オート1
リバース/ホワイト:	オフ
スクリーンワイパー:	オフ
ソフトフォーカス:	オフ
画面表示シフト:	オン
OSDコントラスト:	低

ABLについて

輝度を自動で調整するか、輝度を最小に固定するかを設定します。明暗のはっきりした静止画像を映すことが多い場合には、「75」、「50」、「25」に設定します。

例 【75】に設定する

【ABL】を選び、【75】に設定する

そのほかの設定
ABL : ◀75▶
オービター : オフ
リバース/ホワイト : オフ
スクリーンワイパー : オフ
ソフトフォーカス : オフ
画面表示シフト : オン
OSDコントラスト : 低
選択 調整 戻る 戻る

お知らせ

ABLの設定について…

● 100
輝度を映像に適したモードに自動設定し、映像を見やすくします。ただし、明暗のはっきりした静止画像を映すことが多い場合、部分的に消えない映像(焼き付き)の原因になることがあります。焼き付きの発生を軽減させるために、【75、50、25】に設定することをお奨めします。

● 75、50、25
最高輝度を設定します。75、50、25の順に輝度が暗くなり、25で、輝度を最小にします。

オービターについて

画面の表示位置を一定時間ごとに移動するように設定します。

例　【オート1】に設定する

【オービター】を選び、【オート1】に設定する

そのほかの設定
ABL　：100
オービター　：◀オート1▶
リバース/ホワイト　：オフ
スクリーンワイパー　：オフ
ソフトフォーカス　：オフ
画面表示シフト　：オン
OSDコントラスト　：低
◆選択　◆調整　戻る戻る

お願い

デジタルズーム、2画面表示のとき、オービターは、はたらきません。

お知らせ

オービターの設定について…

● オート1
映像を縮小して、オービター動作します。ビデオ、コンポーネント、HDMI入力時の初期値です。使用しない場合は、オフにしてください。

● オート2
映像を拡大して、オービター動作します。

● オフ
オービター動作しません。PC入力時の初期値です。

＊ビデオ、コンポーネント、HDMI入力のときは、画像のみが動きます。

＊ビデオ、コンポーネント、HDMI入力では、オート1､2にて画面の縮小／拡大はせず、移動するだけです。

リバース／ホワイトについて

画面の反転表示(ネガ／ポジ)または全白画面表示を設定します。

例　【リバース】に設定する

【リバース／ホワイト】を選び、【リバース】に設定する

お知らせ

リバースの設定について

● リバース
画面を反転表示(ネガ／ポジ)します。

● オフ
解除されます。

● ホワイト
画面全体を白く発光させ、残像を軽減します。

スクリーンワイパーについて

画面の左端から右端へ、白い垂直バーを一定の速度で移動させるように設定します。

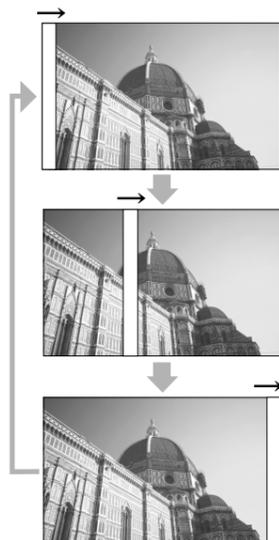
※オンスクリーンやメニューが表示されている間は、スクリーンワイパーは動作しません。

例　【オン】に設定する

【スクリーンワイパー】を選び、【オン】に設定する

お知らせ

スクリーンワイパーの動作

白い垂直バーを画面の左端から右端まで、一定時間で移動することにより、画面の焼き付きを軽減させます。

スクリーンワイパーの設定について

● オン…スクリーンワイパーが、はたらきます。

● オフ…スクリーンワイパーが、はたらきません。

ソフトフォーカスについて

映像のエッジを抑え、やわらかい映像にします。

例　【レベル2】に設定する

【ソフトフォーカス】を選び、【レベル2】に設定する

お知らせ

ソフトフォーカスの設定について

● オフ
ソフトフォーカスの設定を解除します。

● レベル1～4
ソフトフォーカスを設定します。レベル1､2､3､4の順に、やわらかい映像になります。レベル1～4にした場合、映像の設定で、【画質】は調整できません。

画面表示シフトについて

OSDメニューを少しずつ位置をずらしながら表示します。

例　【オフ】に設定する

【画面表示シフト】を選び、【オフ】に設定する

お知らせ

画面表示シフトの設定について

● オフ
メニューはいつも同じ位置に表示されます。

● オン
メニューを表示するたびに、8ドットずつ位置がずれて表示されます。

OSDコントラストについて

OSDメニューの明るさを設定します。

例　【ノーマル】に設定する

【OSDコントラスト】を選び、【ノーマル】に設定する

お知らせ

OSDコントラストの設定について

● ノーマル
通常の画面表示の明るさにします。

● 低
通常より、明るさを下げます。

インフォメーション

インフォメーション

現在、入力されている信号の周波数・同期極性・解像度が確認できます。

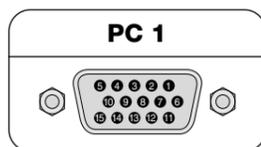
「メインメニュー」から【インフォメーション】を選び、メニュー/決定ボタンを押す

・「インフォメーション」画面となり、現在の入力情報が表示されます。

PC時：　メモリと表示
PC以外：モードと表示

端子のピン配列

PC 1端子のピン配列と信号レベル（ミニ D-Sub 15ピン）

PC 1

信号レベル	
ビデオ信号	：0.7Vp-p（アナログ）
同期信号	：TTLレベル

ピンNo.	信号（アナログ）	ピンNo.	信号（アナログ）
1	赤	9	非接続
2	緑またはシンクオングリーン	10	同期信号　接地
3	青	11	非接続
4	非接続	12	Bi-directional DATA(SDA)
5	接地	13	水平またはコンポジット同期
6	赤　接地	14	垂直同期
7	緑　接地	15	Data clock
8	青　接地		

サポートする入力信号

- 4:3モードのとき、各信号は1024ドット×768ラインに変換して表示します。（ただし、＊2〜＊4の場合を除く）
- D BY Dモードのとき、入力信号の解像度をそのまま表示します。
- フルモードのとき、各信号は1365ドット×768ラインに変換して表示します。（ただし、＊3の場合を除く）

モデル		表示解像度	周波数		同期極性		同期の有無		画面モード			RGBセレクト	メモリ	備　考
	Signal Type	(ドット×ライン)	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	水平	垂直	水平	垂直	4:3	D BY D	フル (16:9)	＊5		
IBM PC/AT 互換機＊9		640×400	70.1	31.5	負	負	有	有	有＊2	——	有	——	4	PC-9800シリーズ
		640×480	59.9	31.5	負	負	有	有	有	——	有	スチル	5	
			72.8	37.9	負	負	有	有	有	——	有	——	7	
			75.0	37.5	負	負	有	有	有	——	有	スチル	8	PC-9800シリーズ
			85.0	43.3	負	負	有	有	有	——	有	——	9	
			100.4	51.1	負	負	有	有	有	——	有	——	41	
			120.4	61.3	負	負	有	有	有	——	有	——	42	
		848×480	60.0	31.0	正	正	有	有	——	——	有	ワイド2	19	CEREB NX＊7,アイ・オー・データ, 他
		852×480＊1	60.0	31.7	負	負	有	有	——	——	有	ワイド1	17	アイ・オー・データ
		800×600	56.3	35.2	正	正	有	有	有	——	有	スチル	11	PC-9800シリーズ
			60.3	37.9	正	正	有	有	有	——	有	スチル	12	
			72.2	48.1	正	正	有	有	有	——	有	——	13	
			75.0	46.9	正	正	有	有	有	——	有	——	14	
			85.1	53.7	正	正	有	有	有	——	有	——	15	
			99.8	63.0	正	正	有	有	有	——	有	——	43	
			120.0	75.7	正	正	有	有	有	——	有	——	44	
		1024×768	60.0	48.4	負	負	有	有	有＊3	——	有	スチル	24	
			70.1	56.5	負	負	有	有	有＊3	——	有	——	25	
			75.0	60.0	正	正	有	有	有＊3	——	有	スチル	26	
			85.0	68.7	正	正	有	有	有＊3	——	有	——	27	
			100.6	80.5	負	負	有	有	有＊3	——	有	——	45	
		1152×864	75.0	67.5	正	正	有	有	有	——	有	スチル	51	
		1280×768	56.2	45.1	負	負	有	有	——	有	有	ワイド1	52	
			59.8＊10	48.0＊10	負	正	有	有	——	有	有	ワイド4	23	
			69.8＊10	56.0＊10	負	正	有	有	——	有	有	ワイド1	66	
		1280×800＊10	60.0	49.7	負	負	有	有	——	——	有	ワイド1	21	
		1280×854＊10	60.0	53.1	負	負	有	有	——	——	有	ワイド2	37	
		1360×765	60.0	47.7	正	正	有	有	——	——	有＊3	ワイド1	22	
		1360×768	60.0	47.7	正	正	有	有	——	——	有＊3	ワイド1	22	
		1376×768	59.9	48.3	負	正	有	有	——	——	有	ワイド2	53	
		1280×1024	60.0	64.0	正	正	有	有	有＊4	——	有	スチル	29	
			75.0	80.0	正	正	有	有	有＊4	——	有	——	30	
			85.0	91.1	正	正	有	有	有＊4	——	有	——	40	
			100.1	108.5	正	正	有	有	有＊4	——	有	——	47	
		1680×1050＊10	60.0	65.3	負	負	有	有	——	——	有	ワイド4	38	
		1600×1200	60.0	75.0	正	正	有	有	有	——	有	——	54	
			65.0	81.3	正	正	有	有	有	——	有	——	55	
			70.0	87.5	正	正	有	有	有	——	有	——	56	
			75.0	93.8	正	正	有	有	有	——	有	——	57	
			85.0	106.3	正	正	有	有	有	——	有	——	58	
		1920×1200＊10	60.0	74.6	負	負	有	有	——	——	有	ワイド2	81	
		1920×1200RB＊10	60.0	74.0	負	負	有	有	——	——	有	ワイド3	88	
Apple Macintosh＊6, ＊9		640×480	66.7	35.0	Sync on G	Sync on G	——	——	有	——	有	——	6	
		832×624	74.6	49.7	Sync on G	Sync on G	——	——	有	——	有	——	16	
		1024×768	74.9	60.2	Sync on G	Sync on G	——	——	有＊3	——	有	ワイド1	28	
		1152×870	75.1	68.7	Sync on G	Sync on G	——	——	有	——	有	ワイド1	39	
		1440×900＊10	60.0	56.0	負	負	有	有	——	——	有	——	89	
Work Station＊9	EWS4800	1280×1024	60.0	64.6	負	負	有	有	有＊4	——	有	——	29	
			71.2	75.1	負	負	有	有	有＊4	——	有	——	48	
	HP	1280×1024	72.0	78.1	——	——	——	——	有＊4	——	有	——	59	
	SUN	1152×900	66.0	61.8	C Sync	C Sync	——	——	有	——	有	——	60	
			76.0	71.7	C Sync	C Sync	——	——	有	——	有	——	61	
		1280×1024	76.1	81.1	C Sync	C Sync	——	——	有＊4	——	有	——	30	
	SGI	1024×768	60.0	49.7	——	——	——	——	有＊3	——	有	——	62	
		1280×1024	60.0	63.9	——	——	——	——	有＊4	——	有	——	29	
IDC-3000G	NTSC525P	640×480	59.9	31.5	負	負	有	有	有＊8	——	有＊8	動画	32	

サポートする入力信号

＊1　「アイ・オー・データ機器」社製のグラフィックアクセラレータボードを使用した場合のみ。
＊2　この周波数の信号は、1024ドット×640ラインに変換しています。
＊3　入力信号の解像度をそのまま表示しています。
＊4　この周波数の信号は、960ドット×768ラインに変換しています。(5:4)
＊5　通常はオートで自動判別しますが、正しく表示されないときは“RGBセレクト”を表のとおり設定してください。
＊6　Macintoshに接続する際には、信号アダプタ(D-Sub15ピン)を使用してください。なお、ミニD-Sub15ピン接続の一部機種にはRGB信号ケーブル(市販品)にて接続願います。
＊7　接続の際には設定をご確認ください。
＊8　この周波数の信号は、ズーム・ワイド・14:9・2.35:1モードにも対応しています。
＊9　垂直周波数が65Hz以上の信号で動画を入力した際には、画面がぶれて見える場合があります。その場合は外部機器のリフレッシュレートを60Hzに設定してください。
同期極性がシンクオングリーンである480I@60Hzの信号を表示する際には、PC2端子に接続して【RGBセレクト】を【動画】に設定してください。
＊10 CVT規格に準拠。

注)●プラズマディスプレイの性質上、上記解像度においても、パソコン本体のタイミング誤差により、ユーザーによる位置・サイズ・位相の調整が必要になります
●1280ドット×1024ライン、1600ドット×1200ラインの表示については、圧縮処理を行った簡易表示になります。
●上記以外の非標準信号を入力した場合、同期が乱れることがあります。
●本ディスプレイは1365ドット×768ライン画素ですので、XGAおよびワイドXGA相当の信号での入力を推奨いたします。
●Composite Syncを接続する際には、Composite SyncをHD端子に接続してください。

・IBM PC/ATは米国 International Business Machines, Inc. の登録商標です。
・Apple Macintoshは米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

故障かな？と思ったら

サービス(修理)を依頼される前に

故障と思われる前に、調整や取り扱いかた、信号ケーブルの接触不良などをお調べください。
なお異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店、または修理受付センターに修理を依頼してください。また、その他ご不明な点もお買い上げの販売店にご相談ください。

	このようなとき	確認してください	行ってください
本体関係	本体内部から機械音がする	● 放熱ファンの回転による風きり音です。	● 本体には動作中の内部温度の上昇を防ぐための、放熱ファンが内蔵されています。
	本体からときどき「ピシッ」と音がする	● 映像、音声は正常ですか？	● 映像や音声に異常がない場合、室温の変化により、キャビネットがわずかに伸縮する音です。機能その他に影響はありません。
	画面に光る点、または光らない点がある	● プラズマディスプレイの映像は微細な画素の集合です。	● 画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。故障ではありません ☞8
	映像が乱れる／雑音が混じる／リモコンが誤動作する	● 本体の前面や真横に接続機器を設置していませんか？	● 本体と接続機器の間隔をあけてください。
	ディスプレイのSTANDBY/ONランプが赤色と緑色で交互に、または、緑色が点滅している	● 本体の異常を検出しています。すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。	
	本体のSTANDBY/ONランプが赤色のみ点滅している	● 本体の内部温度が上がりすぎているため、プロテクタが働いています。すぐに本体の電源を切り、内部温度が下がるまでお待ちください。	
	映像が明瞭でない	● 映像の調整は合っていますか？	● リモコンで適正な映像に調整してください。☞27
	映像の「明るさ」、「映像」などが調整できない	● AVセレクションの設定が「デフォルト」になっていませんか？	● AVセレクションの設定で「映画1、2」、「標準」を選んでください。☞30
	音声の設定が調整できない	● 音声入力の設定は適切ですか？	● 音声入力の調整で正しく設定してください。☞30
リモコン関係	リモコンのPOWER ONボタンを押しても、ディスプレイの電源が入らない	● 本体の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	● 本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。☞11
		● 本体のSTANDBY/ONランプが消えていませんか？	● 本体のPOWERボタンを押して、電源を入れてください。☞16
		● リモコンの乾電池が消耗していませんか？	● 新しい乾電池に2本とも取り替えてください。(単四乾電池をご使用ください。) ☞12
	リモコンのボタンを押しても本体がはたらかない	● リモコンを本体に向けて操作していますか？　また、障害物はありませんか？	● 本体のリモコン受光部に向けて、ボタンを押してください。また、障害物を取り除いてください。☞12
		● 本体のリモコン受光部に、直射日光や強い照明が当たっていませんか？	● カーテンを閉めたり、照明をずらすなど光を弱めてください。☞12
		● リモコンと本体のリモコン受光部のあいだが離れすぎていませんか？	● リモコンを7m以内に近づけてください。☞12
		● リモコンの乾電池が消耗していませんか？	● 新しい乾電池に2本とも取り替えてください。(単四乾電池をご使用ください。) ☞12

⚠ 注意

電源を入れてからすぐに電源が切れ、STANDBY/ONランプが点滅した場合は、電源回路が正常でないことを示します。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または、修理受付センターにご相談ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。

故障かな？と思ったら

	このようなとき	確認してください	行ってください
ビデオ関係	映像が出ない	● 本体の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	● 本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。☞11
		● コンセントが異常ではありませんか？	● コンセントにAC100Vが来ているか確かめてください。
		● 接続した外部機器の電源が入っていますか？	● 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にしてください。
		● 外部機器との接続を間違えていませんか？	● 正しく接続してください。
		● 入力モードの選択を間違えていませんか？	● ビデオ1〜3、コンポーネント1、PC2/コンポーネント2、HDMI、PC1ボタンを正しく選んでください。
		● ビデオ端子の接続を間違えていませんか？	● 接続を確かめてください。
	映像は出るが音が出ない	● 音量が最小になっていませんか？	● 音量を調整してください。☞17
		● 音量が「消音」になっていませんか？	● リモコンの消音ボタンを押してください。☞17
		● スピーカは正しく接続されていますか？	● スピーカを正しく接続してください。
		● 音声入力の設定は適切ですか？	● 音声入力の調整で正しく設定してください。☞31
	ビデオ入力画面のとき映像が乱れる	● 外部機器の影響	● 外部機器の位置をずらしてください。
		● ケーブルのゆるみはありませんか？	● 接続を確かめてください。
	色あいが悪い・色がうすい	● 色あい・色の濃さの調整がずれていませんか？	● 映像の調整の【色あい】・【色の濃さ】を調整してください。☞27
PC関係	画面に何も映らない	● パソコンの電源が入っていますか？	● パソコンの電源を入れてください。
		● パソコンを接続していますか？	● 本体にパソコンを接続してください。
		● パワーマネジメント機能が、はたらいていませんか？	● パソコンを操作(マウスを動かすなど)してください。
	PC入力画面のとき映像が乱れる	● RGB端子の接続を間違えていませんか？	● 接続を確かめてください。
	映像が欠けている、または中央からずれている	● 画面の位置調整は適切ですか？	● 画面の調整の垂直／水平位置調整で調整してください。☞31
	映像が大きすぎる、または小さすぎる	● 画面サイズの調整は適切ですか？	● 画面の調整の垂直／水平サイズで調整してください。☞31
	映像が乱れる	● パソコンの表示解像度は適切ですか？	● 正しい解像度に設定してください。

お願い

静止画像を長時間表示しないでください。パネルが焼き付きを起こすことがあります。

■STANDBY/ONランプの点灯状態

状態		STANDBY/ONランプ
通常時	主電源「ON」	緑
	リモコンにて電源「OFF」(スタンバイ状態)	赤
	主電源「OFF」	消灯
異常検出時	温度異常警告	赤点滅
	パネルダメージ	赤と緑で交互に点滅
	温度センサまたはファンの異常	緑点滅

温度プロテクタについて

本体の内部温度が非常に高くなると、温度プロテクタがはたらき本体の電源が切れます。

このようなときは、以下のことを行ってください。

1.主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2.次の事項を確認し、必要な処置をしてください。

- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、適切な場所(気温5℃〜35℃)に設置し直してください。
- 周囲に50mm以上間隔をあけ、通風孔をふさがないでください。また、通風孔のほこりを掃除してください。
- 本体の温度が下がるまで、約60分待ってください。

3.以上のことを行っても解決しないときは、販売店にご相談ください。

仕　様

型番	PDP-615PRO
型名	61V型高精細プラズマディスプレイモニター
画面寸法	幅135.1cm×高さ76.0cm　対角155.0cm
アスペクト比	16:9
画素数[1]	1365(水平)×768(垂直)
消費電力	540W スタンバイ時 0.9W
使用電源	AC100V　50/60Hz
外形寸法	幅1502mm、奥行126mm、高さ912mm
質量	68.0Kg
対応映像信号	RGB / NTSC(3.58/4.43) / PAL(B,G,M,N) / PAL60 / SECAM / HD[2] / DVD[2] / DTV[2]
映像入力	アナログRGB信号 入力端子(2系統) ミニD-sub15ピン BNC端子 R,G,B,H/CS,V[3] デジタル信号 入力端子(1系統)[4] HDMI端子 ビデオ信号 入力端子(3系統) BNC端子 RCA端子 S-Video端子 ハイビジョン信号(DVD色差入力対応) 入力端子(3系統) RCA端子　Y,PB[CB],PR[CR] BNC端子　Y,PB[CB],PR[CR][3]
音声入力	RCA端子(ステレオ)3系統、セレクト機能あり
音声出力	9W+9W(6Ω)
フロントパネル ユーザコントロール	電源オン/オフ／入力ソース選択／音量up/down／OSDコントロール
使用条件	温度　0℃〜40℃
その他の仕様	リモートコントロール機能／オンスクリーン機能／パワーマネジメント機能／3次元動き適応プログレッシブ変換回路2-2(1080I、1035I以外)2-3(60Hz系)プルダウン映像対応／デジタルズーム機能／自己診断機能／焼き付き低減機能(ホワイト、オービター、リバース、スクリーンワイパー)／色温度設定／自動調整機能／プラグアンドプレイ機能／拡張端子(RS-232C規格準拠)／ガンマ色補正／インプットスキップ／2画面

1) 1画素はRGB 3原色のドット・トリオで構成されます。
2) HD/DVD/DTV(デジタルテレビ放送)の対応信号は以下の通りです。
480P(60Hz), 480I(60Hz), 525P(60Hz), 525I(60Hz), 720P(60Hz), 1035I(60Hz), 1080I(60Hz)
3) 5-BNC端子は、PC入力とコンポーネント入力を選択できます。選択した入力が、PC2またはコンポーネント2として使用できます。
4) HDMI入力の対応信号は以下の通りです。
640×480P @ 60Hz　720×480P @ 60Hz
1280×720P @ 60Hz　1440(720)×480I @ 60Hz
1920×1080I @ 60Hz

※この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
※本体の寸法表示には、取手等の突起物は含まれておりません。

海外へお持ちになるかたへ

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保存してください。

保証期間は購入日から1年間です。
ただし、プラズマディスプレイのガラスパネル部分のみは2年間です。

ご注意

• 画素欠陥については故障・不良ではありませんので、保証の対象外とさせていただきます。
・お客様のご使用過程で発生したディスプレイの焼き付きも、保証の対象外です。
・「安全上のご注意」（➔3ページ）をよくお読みのうえ、正しくご使用になることをお勧めいたします。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理受付センター（裏表紙）にご相談ください。

修理を依頼されるとき

43〜44ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

・ご住所
「付近の目印もあわせてお知らせください」
・お名前
・お電話番号
・製品名　高精細プラズマディスプレイモニター
・型番　　PDP-615PRO
・お買い求め日
・故障または異常の内容
「できるだけ具体的に」
「画面に表示されたコードやメッセージ」
・訪問ご希望日
・ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。テレビの音量は心がけ次第で大きくも小さくもなります。とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などにはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

長年ご使用のプラズマテレビの点検をおすすめいたします。

こんな症状はありませんか？

● 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
● 電源コードにさけめやひび割れがある。
● 電源が入ったり切れたりする。
● 本体から異常な音、熱、臭いがする。

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、「保証とアフターサービス」（上記）をお読みのうえ、修理受付センター（裏表紙）に点検をご依頼ください。